

【資料1-1】

# 環境に関する市民意識調査

## 単純集計結果

平成28年3月2日



# 目次

<b>I. 調査の実施概要</b>	<b>1</b>
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 調査票の配布・回収の状況	1
4. 標本抽出計画と集計にあたっての整理事項	1
5. 本報告書における集計方法、数値の取り扱いについて	2
<b>II. 回答者の属性</b>	<b>4</b>
<b>III. 調査結果</b>	<b>7</b>
1. 環境問題について	7
(1) 周辺環境の現在の満足度・今後の重要度	7
(2) 10年前と比べた周辺環境の変化	11
(3) 環境保全活動への参加状況	12
(4) 環境にやさしい取り組みの実施状況	13
(5) 環境やエネルギー問題の情報源	14
(6) 地球温暖化問題への関心	15
2. 自動車の利用状況について	16
(1) 普段の自動車の利用状況	16
(2) 所有している自動車の台数・種類	17
(3) 今後1年以内の購入・買い替え予定	18
(4) 充電スタンドの増設意向	19
3. エネルギー問題について	20
(1) 化石燃料の将来についての考え	20
(2) 新エネルギーの認知状況	21
(3) 新エネルギーの利用状況・利用意向	22
(4) 新エネルギー設置の問題点・課題	23
(5) 新エネルギー普及のために最も重要な施策	23
4. 甲賀市の取り組みについて	24
(1) 木質バイオマスエネルギーの利活用の推進意向	24
(2) 生ごみ堆肥化循環システムへの参加状況	26
(3) 生ごみ堆肥化循環システムへの参加世帯を増やすために必要なこと	30
(4) 環境保全推進のために市が取り組むべきこと	39
(5) 環境問題や甲賀市の環境政策について	40
<b>資料 使用した調査票</b>	<b>48</b>



# I. 調査の実施概要

## 1. 調査の目的

「甲賀市環境基本計画」(平成21年6月～平成28年3月)の次期計画を策定するにあたり、市民の環境に関する取り組み状況、意見やニーズなどを把握し、次期環境基本計画等の方針や施策に反映していくことを目的に、アンケート調査を実施した。

## 2. 調査の設計

- 調査地域 甲賀市全域
- 調査対象 市内在住の16歳以上の男女・個人
- 調査標本数 2,000人
- 調査抽出法 層化二段無作為抽出法 (抽出台帳:住民基本台帳)
- 調査方法 郵送配布・郵送回収
- 調査時期 平成28年1月25日(月)～平成28年2月10日(水)

## 3. 調査票の配布・回収の状況

- 配布件数 2,000件
- 回収件数(率) 785件(39.3%)
- 有効回答数(率) 785件(39.3%) ※回収件数から無効票(白票)0件を除いた集計母数対象件数

## 4. 標本抽出計画と集計にあたっての整理事項

### ①標本抽出計画と集計母数(集計対象数)

今回の調査では、標本数(アンケート送付数)を市内5地域の母集団構成比(人口比率 ※平成27年11月末現在の住民基本台帳登録人口に基づく)に応じて配分した。

	標本抽出計画				有効回答	
	母集団	母集団構成比	抽出標本数	標本構成比	回収数	構成比
水口町	40,636	44.1 %	881	44.1 %	323	41.1. %
土山町	7,998	8.7 %	173	8.7 %	79	10.1. %
甲賀町	10,470	11.4 %	227	11.4 %	92	11.7. %
甲南町	20,917	22.7 %	454	22.7 %	180	22.9. %
信楽町	12,205	13.2 %	265	13.3 %	108	13.8. %
無回答	-	-	-	-	3	0.4. %
合計	92,226	100.0 %	2,000	100.0 %	785	100.0 %

## ②調査結果の精度

今回の調査は標本調査のため、調査結果(標本測定値)から母集団の意識や課題、要望を推定することができます。ただ、標本(調査対象)抽出の際に生じる標本誤差を考慮したうえで調査結果を分析し、また母集団の意識や課題、要望を推定する必要があります。

世論調査では、信頼度95%(同じ調査で標本(調査対象)を変えて行った場合、100回中95回までは同様の結果が得られる(5回程度は異なる結果が出ることは許容される)と考えてもよい)の水準を求めるのが一般的とされています。

これに基づき、今回の調査における標本測定値の標本誤差は以下の数式で求められます。

$$\varepsilon = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

ε: 標本誤差

±1.96: 信頼度 95%の時の信頼係数

N: 母集団数(本調査では 92,226 人)

n: 標本数(回収数。本調査では有効回答数 785 件)

P: 標本測定値(50%のときに最大)

上記の式に必要な数値をあてはめて計算すると、「ε(標本誤差)=3.48」(小数第3位四捨五入)という数値が得られます。このことから、今回と同じ調査を調査対象を変えて行った場合、ある設問のある選択肢の回答比率が50%であった場合、その回答比率の誤差は±3.48%(46.52%~53.48%)の範囲内であると考えても間違いないといえます。

## 5. 本報告書における集計方法、数値の取り扱いについて

- 比率はすべて、各設問の不明・無回答を含む集計対象者数(副問では当該設問回答対象者数)に対する百分率(%)を表している。1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問(複数回答設問)では、百分率(%)の合計は、100.0%を超える場合がある。
- 百分率(%)は小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示した。1つだけ回答を求める設問(単数回答設問)では、四捨五入の関係上各選択肢の百分率(%)の合計が100.0%にならない場合がある。
- 問9、問14については、以下のように選択肢を集約した再集計値(「無回答」を除き、再集計した割合)も併せて表示している。

問番号	選択肢	再集計
問9	0台	1台以上保有
	1台	
	2台	
	3台	
	4台	
	5台以上	
問14	現在設置している	設置済みまたは 設置予定あり
	設置する予定がある	
	設置する予定はない	-
	賃貸、集合住宅のため、設置できない わからない	

○問2、問3、問4、問5、問8-1、問13は、加重平均による集計を行い、小数第3位を四捨五入した相を示している。加重平均は、「(〈選択肢の回答者数〉×〈選択肢ごとの配点〉)÷〈無回答者を除く当該設問の回答者数〉」により求めている。

選択肢の配点		5点	4点	3点	2点	1点
問2	評価点 (満足度)	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
問2	評価点 (重要度)	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない

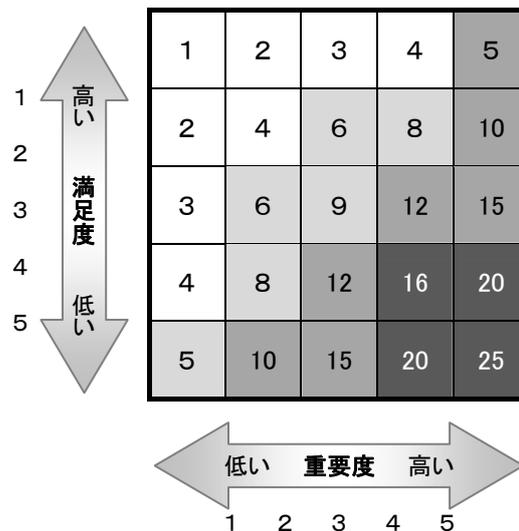
選択肢の配点		2点	0点	-2点
問3	評価点	良くなった	変わらない	悪くなった

選択肢の配点		3点	2点	1点	0点
問4	評価点	よく参加している	時々参加している	参加してみたい	関心はない
問5	評価点	いつも実行している	時々実行している	今後実行しようと思う	今後実行するつもりはない

選択肢の配点		2点	1点	0点
問 8-1	利用度	ほとんど毎回利用	時々利用する	利用しない
問 13	認知度	よく知っている	聞いたことはあるが、どんなものかは知らない	聞いたことがない

○問2の満足度と重要度の関係を指標化し、分析するため、『ニーズ得点』を算出している。ニーズ得点は、「〈重要度〉×〈6-満足度〉」により求められ、重要度が高く、満足の低い項目ほど高くなる。

■重要度と満足度からみたニーズ得点の配点



## Ⅱ. 回答者の属性

### ①年齢

問1-1 あなたの年齢を教えてください。

○年齢は、「65～69歳」が最も多く14.6%、次いで「60～64歳」(12.0%)、「70～74歳」(9.4%)となっている。

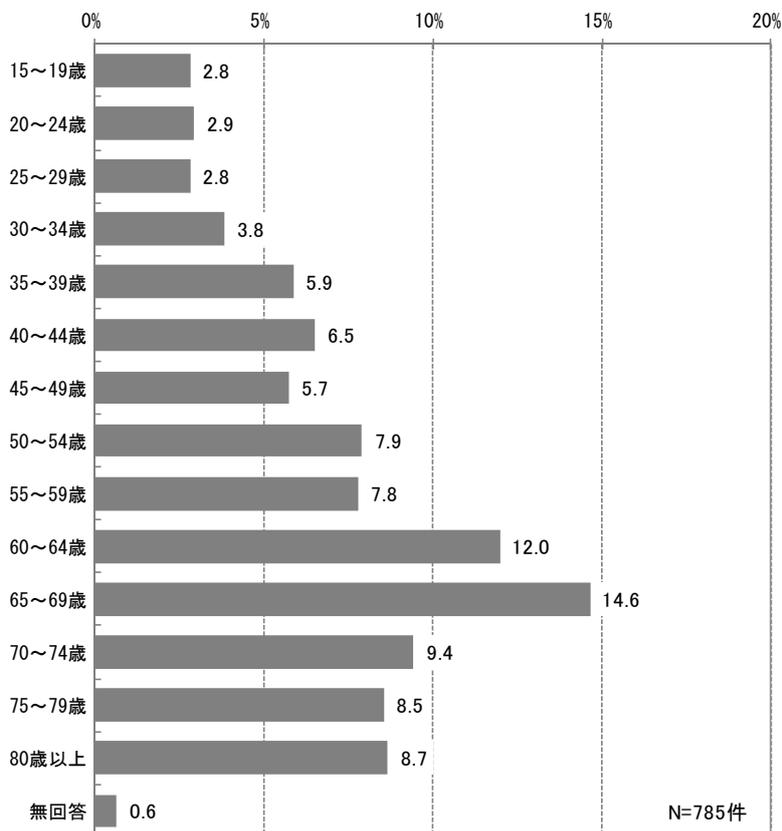


図 1 年齢

### ②性別

問1-2 あなたの性別を教えてください。

○性別は、「女」が53.8%、「男」(45.6%)となっている。

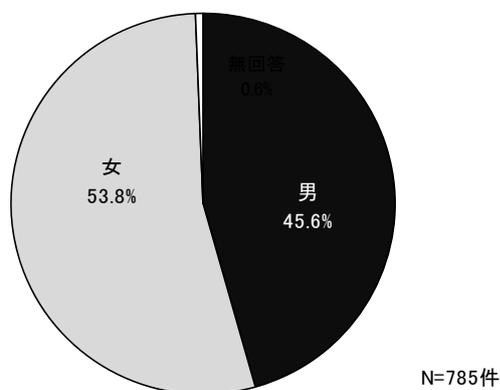


図 2 性別

### ③居住地域

問1-3 あなたのお住まいの地域はどちらですか。

○居住地域は、「水口町」が最も多く41.1%、次いで「甲南町」(22.9%)、「信楽町」(13.8%)となっている。

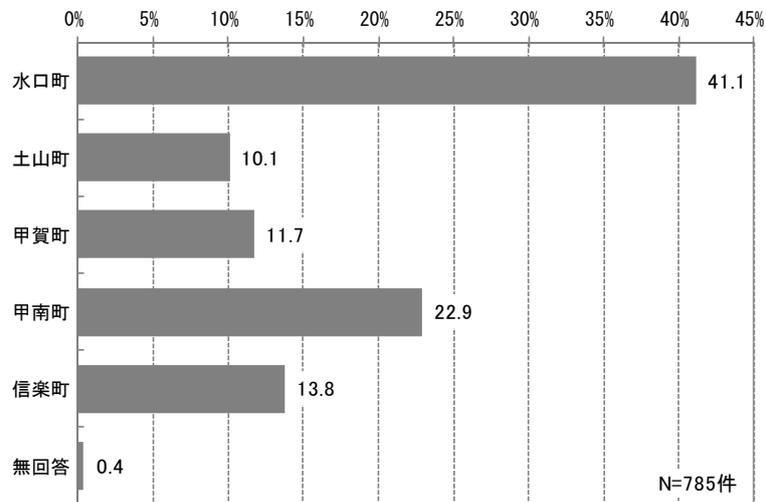


図 3 居住地域

### ④現在の住所での居住年数

問1-4 現在の住所に住まれて何年になりますか。

○現在の住所での居住年数は、「30年以上」が最も多く56.4%、次いで「10年～30年未満」(31.3%)となっている。

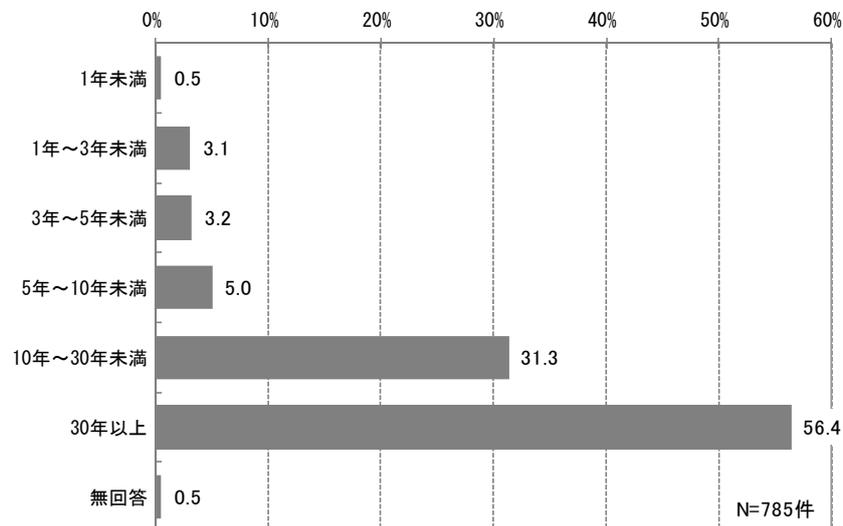


図 4 現在の住所での居住年数

## ⑤同居している家族人数

問1-5 同居している家族人数を教えてください。(ご本人を含む)

○同居している家族人数は、「2人」が最も多く24.2%、次いで「3人」(25.0%)、「4人」(19.9%)となっている。

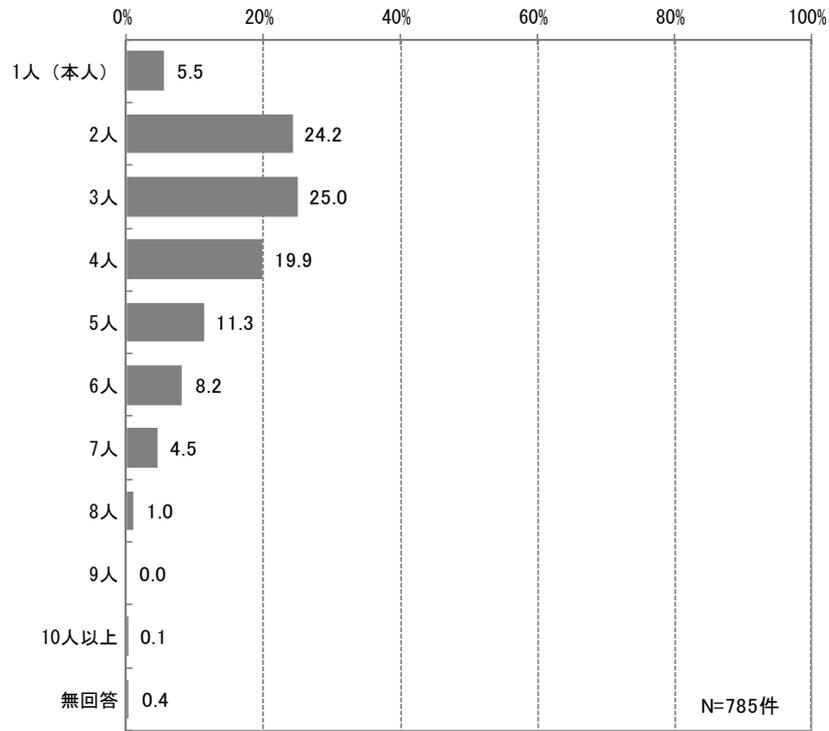


図 5 同居している家族人数

## ⑥住宅形態

問1-6 あなたの住宅の形態を教えてください。

○住宅形態は、「一戸建て(木造)」が最も多く78.7%、次いで「一戸建て(非木造)」(14.9%)となっている。

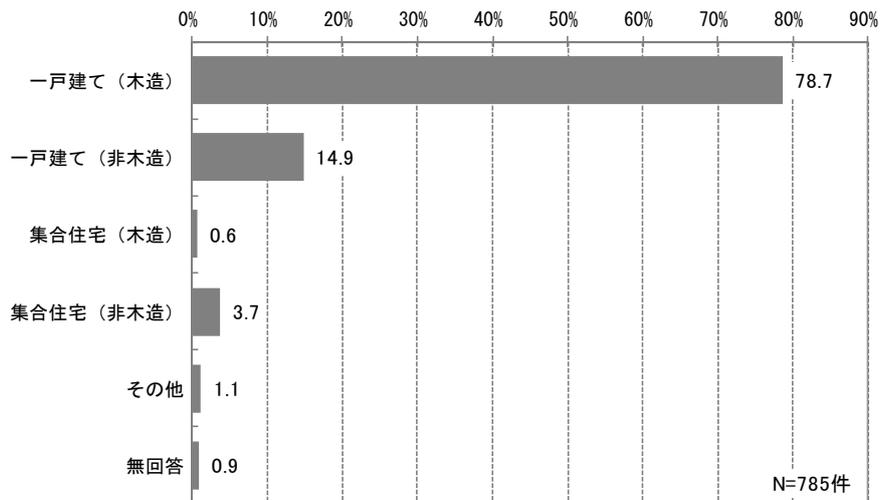


図 6 住宅形態

## Ⅲ. 調査結果

---

### 1. 環境問題について

#### (1) 周辺環境の現在の満足度・今後の重要度

問2 あなたが住んでいる地域周辺の現在の環境について、あなたの満足度、重要度をお聞きします。項目ごとにあなたのお考えに近いものをそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

- 地域周辺環境についての現在の満足度(評価点)は、『③星空の見やすさ(光害がない)』(4.00)が最も高く、次いで『②大気ของきれいさ』(3.75)、『⑦悪臭が無い状況』(3.72)となっている。
- 一方、満足度(評価点)が3.00を下回っているのは、『⑩市民の環境に対する意識』(2.95)、『⑧ごみの不法投棄がされていない状況』(2.88)となっている。
- 地域周辺環境についての今後の重要度(評価点)は、『⑧ごみの不法投棄がされていない状況』(4.62)が最も高く、次いで『⑩自然災害に関する安全性』(4.58)、『②大気ของきれいさ』(4.55)となっている。
- 現在の満足度と今後の重要度から算出したニーズ得点をみると、『⑧ごみの不法投棄がされていない状況』が最も高く、次いで『①川や池の水質のきれいさ』、『⑩市民の環境に対する意識』となっている。

N=785件

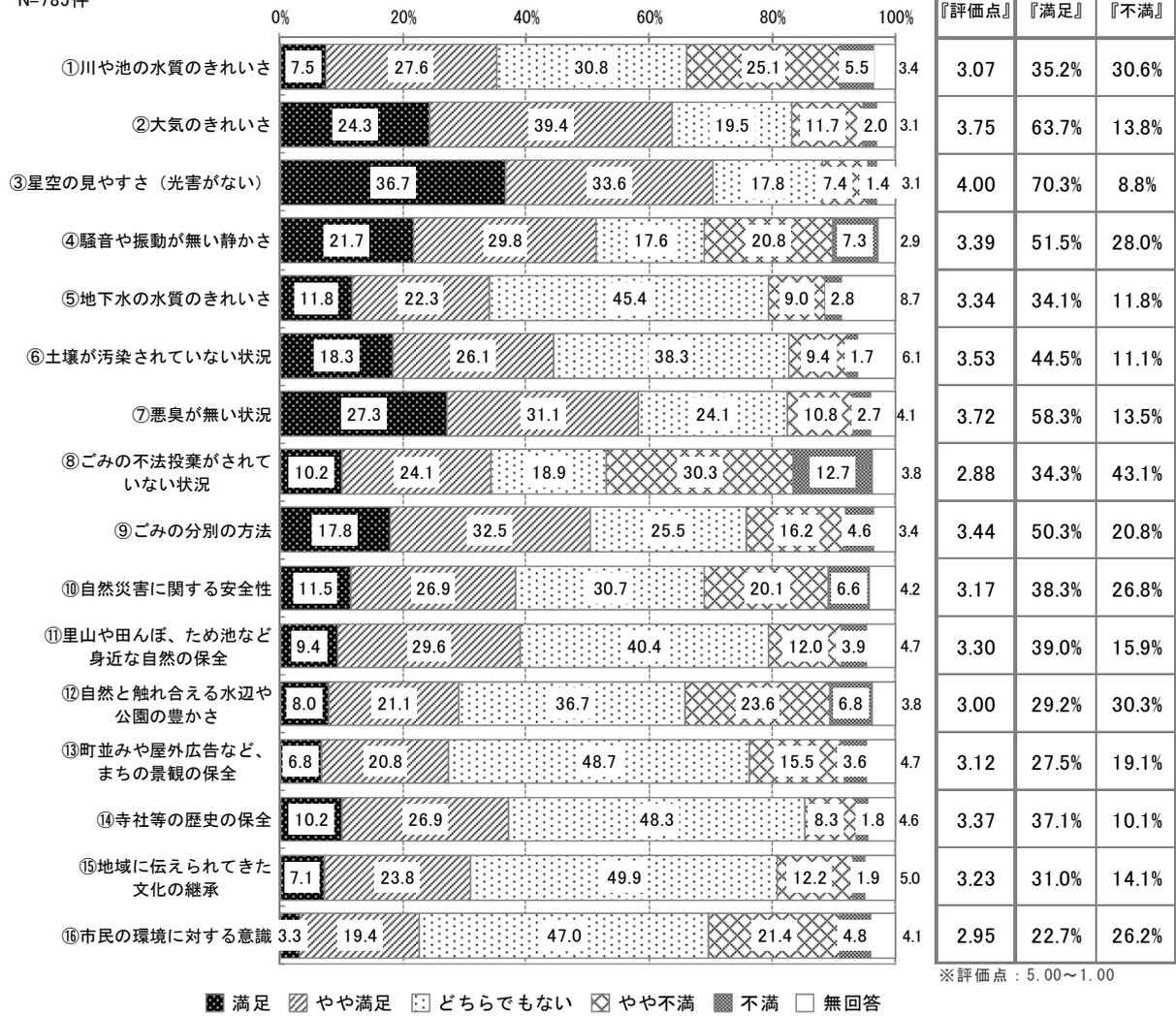


図 7 地域環境の現在の満足度

N=785件

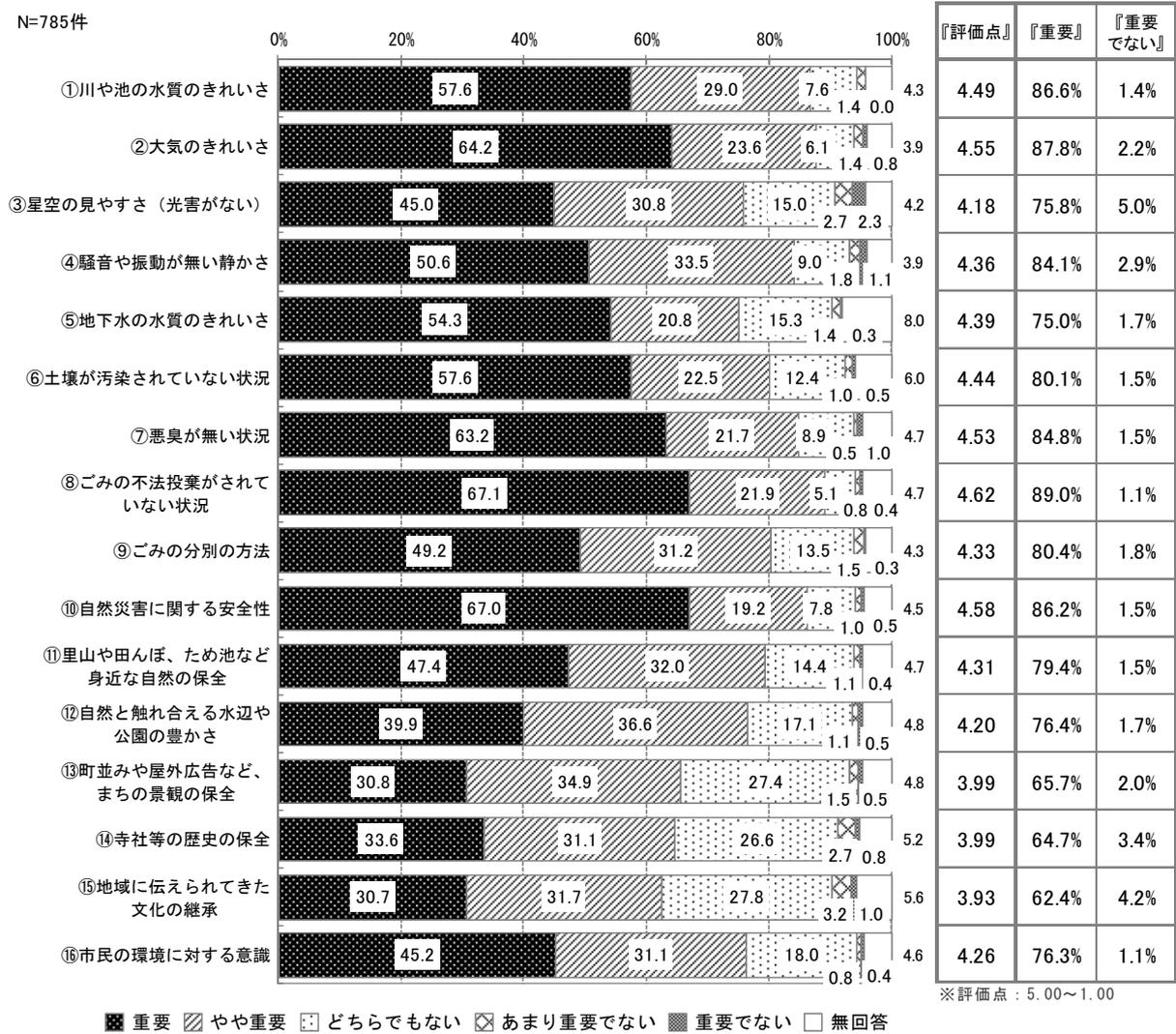


図 8 地域環境の今後の重要度

表 1 地域環境に関するニーズ得点

設問項目	【満足度】		【重要度】		【ニーズ得点】	
	『評価点』	(評価満足度が高い順位順)	『評価点』	(評価重要度が高い順位順)	『ニーズ得点』※	ニーズ得点順位
① 川や池の水質のきれいさ	3.07	13 位	4.49	5 位	13.17	2 位
② 大気の手きれいさ	3.75	2 位	4.55	3 位	10.26	15 位
③ 星空の手見やすさ (光害がない)	4.00	1 位	4.18	13 位	8.38	16 位
④ 騒音や振動が手無い静かさ	3.39	6 位	4.36	8 位	11.38	9 位
⑤ 地下水の水質の手きれいさ	3.34	8 位	4.39	7 位	11.65	6 位
⑥ 土壌が汚染されていない状況	3.53	4 位	4.44	6 位	10.96	11 位
⑦ 悪臭が手無い状況	3.72	3 位	4.53	4 位	10.30	14 位
⑧ ごみの不法投棄がされていない状況	2.88	16 位	4.62	1 位	14.41	1 位
⑨ ごみの分別の方法	3.44	5 位	4.33	9 位	11.08	10 位
⑩ 自然災害に関する安全性	3.17	11 位	4.58	2 位	12.96	4 位
⑪ 里山や田んぼ、ため池など身近な自然の保全	3.30	9 位	4.31	10 位	11.64	7 位
⑫ 自然と触れ合える水辺や公園の豊かさ	3.00	14 位	4.20	12 位	12.59	5 位
⑬ 町並みや屋外広告など、まちの景観の保全	3.12	12 位	3.99	15 位	11.48	8 位
⑭ 寺社等の歴史の保全	3.37	7 位	3.99	14 位	10.50	13 位
⑮ 地域に伝えられてきた文化の継承	3.23	10 位	3.93	16 位	10.88	12 位
⑯ 市民の環境に対する意識	2.95	15 位	4.26	11 位	13.00	3 位

※ニーズ得点、重要度 × (6 - 満足度) で算出

## (2) 10年前と比べた周辺環境の変化

問3 現在の住所に10年以上お住まいの方にお聞きます。

10年前と比べて地域周辺の状況はどう変わりましたか。以下の各項目について、あなたのお考えに近い番号に○をそれぞれ1つつけてください。

○10年前と比べた周辺環境の変化(評価点)は、『⑨ごみの分別の方法』(0.58)が最も高く、次いで『⑩市民の環境に対する意識』(0.11)、『⑩自然災害に関する安全性』(0.10)となっている。

○一方、評価点が低い順にみると、『④騒音や振動が無い静かさ』(-0.58)が最も低く、次いで『⑧ごみの不法投棄がされていない状況』(-0.52)、『②大気のおきれいさ』(-0.20)となっている。

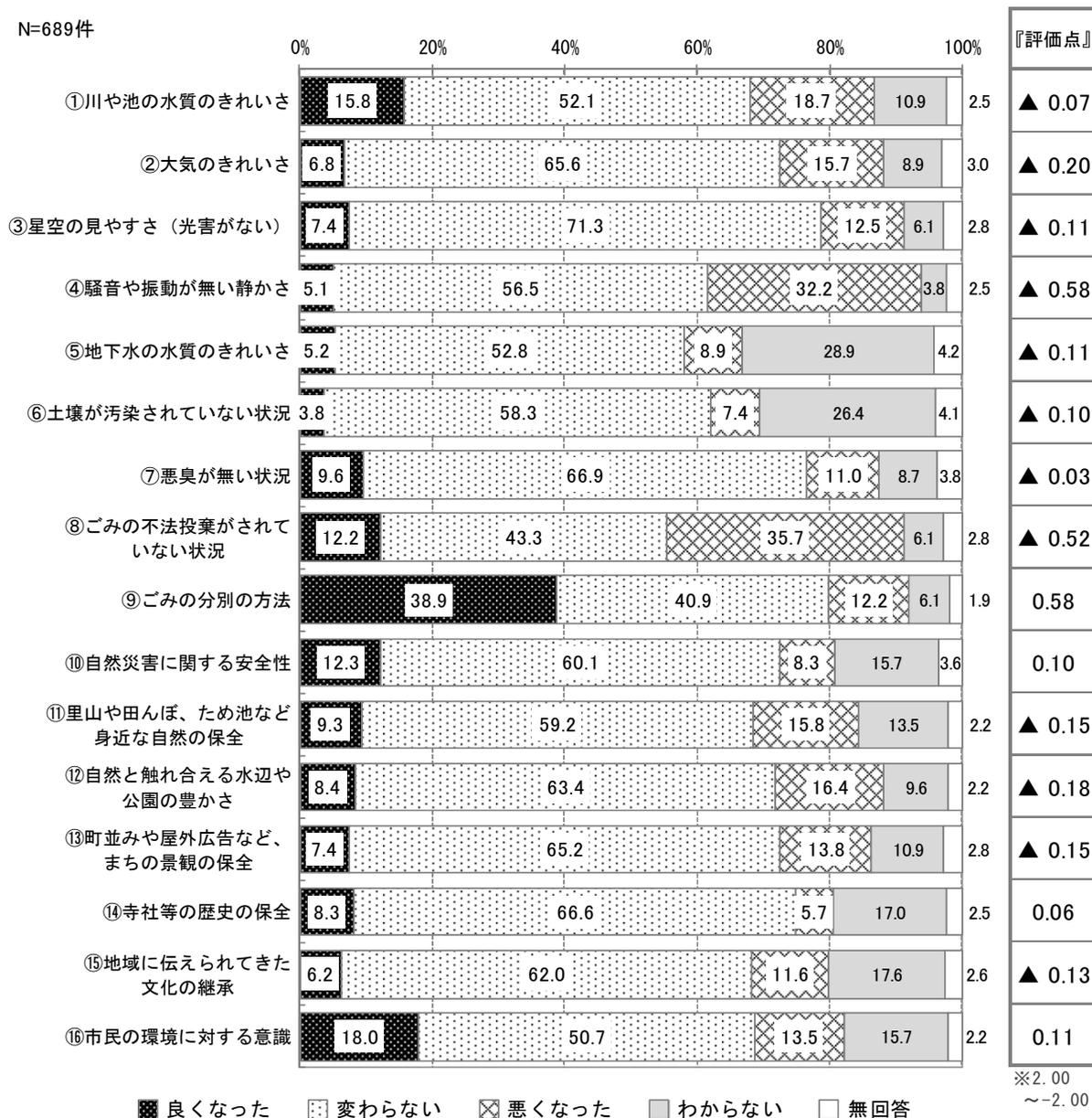


図 9 10年前と比べた周辺環境の変化

### (3) 環境保全活動への参加状況

問4 環境保全のために行われている活動へのあなた自身の参加状況をお聞きます。  
以下の各項目について、あてはまる番号に○をそれぞれ1つつけてください。

○環境保全活動への参加状況(評価点)は、『①公園や道路、河川などまちの美化・清掃活動』(1.90)が最も高く、次いで『⑤資源リサイクル活動(廃品回収、バザーなど)』(1.11)、『②植林や花壇づくりなどの緑化活動』(1.03)となっている。

N=785件

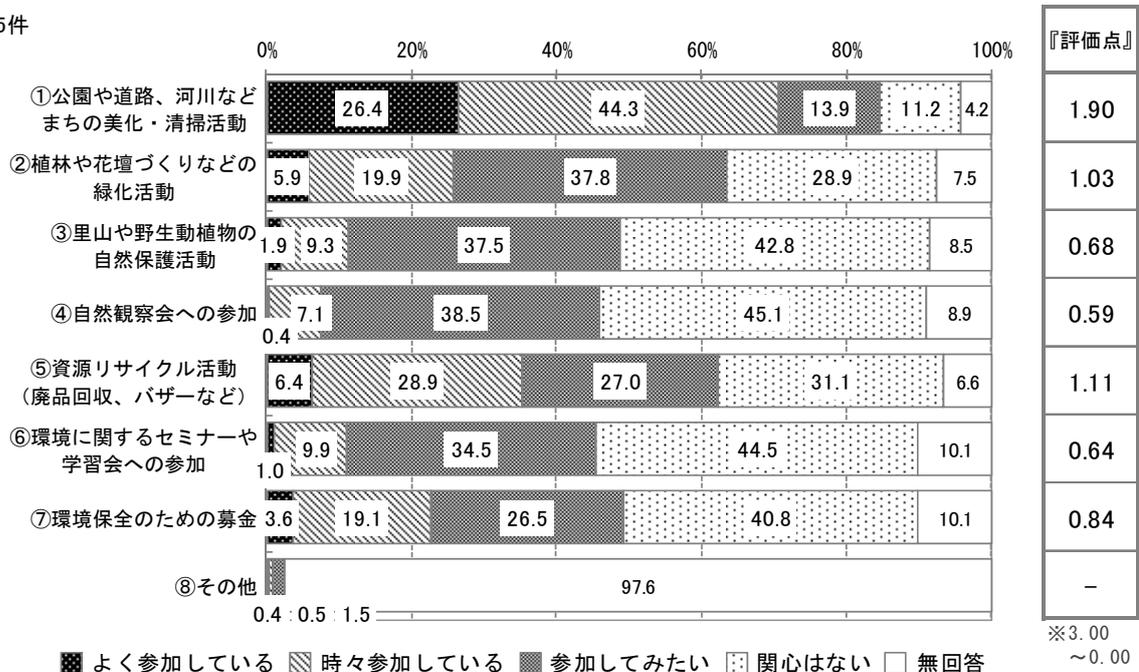


図 10 環境保全活動への参加状況

#### (4)環境にやさしい取り組みの実施状況

問5 あなたの家庭でおこなっている環境にやさしい取り組みについてお聞きます。  
以下の各項目について、あてはまる番号に○をそれぞれ1つつけてください。

○環境にやさしい取り組みの実施状況(評価点)は、『⑨資源ゴミの分別』(2.81)が最も高く、次いで『⑧買い物袋の持参』(2.69)、『④冷暖房の適切な温度設定や無駄な照明は消すなどの節電の実践』(2.49)となっている。

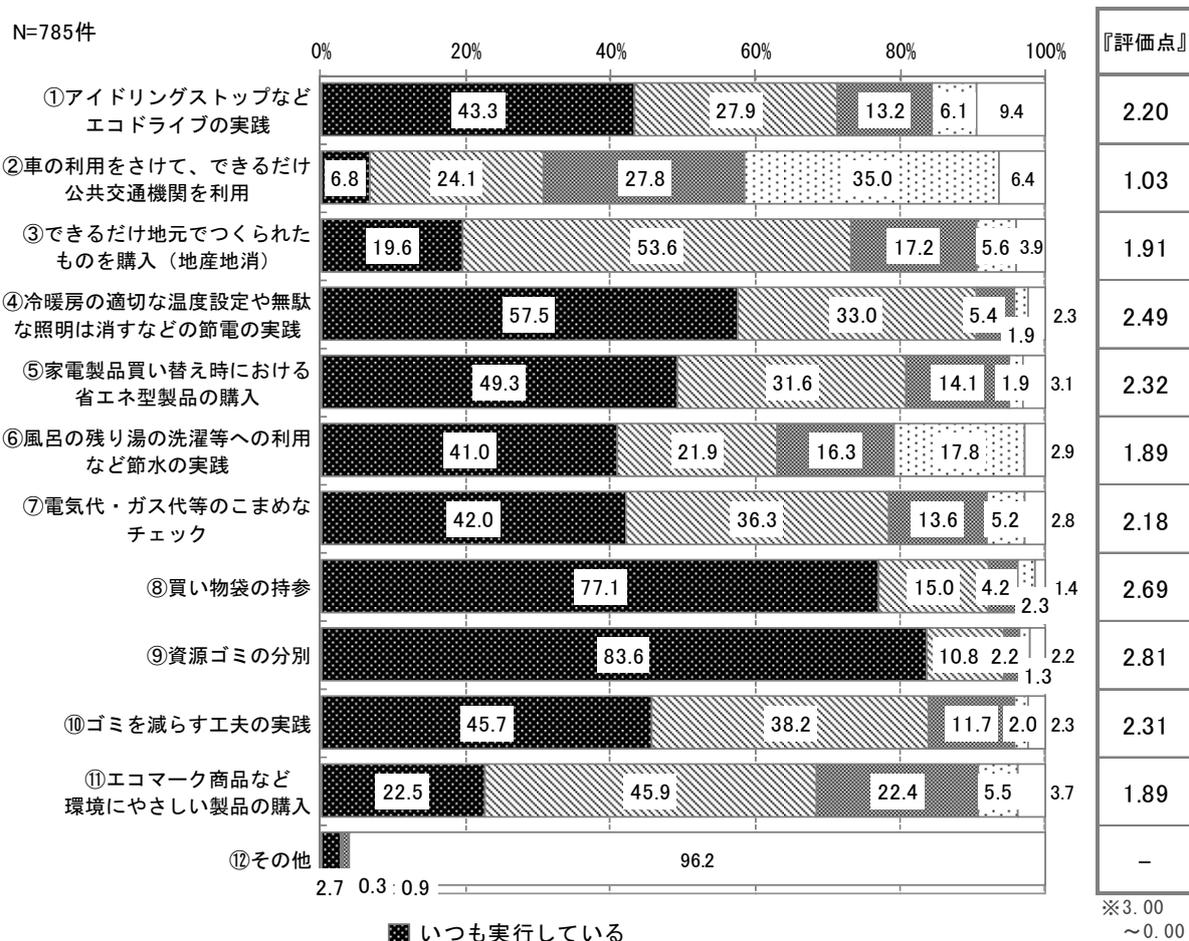


図 11 環境にやさしい取り組みの実施状況

## (5) 環境やエネルギー問題の情報源

問6 環境やエネルギー問題に関する情報源として活用しているのは次のうちどれですか。  
あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

○ 環境やエネルギー問題の情報源は、「テレビ・ラジオ」が最も多く81.1%、次いで「新聞」(70.8%)、「市の広報」(42.2%)となっている。

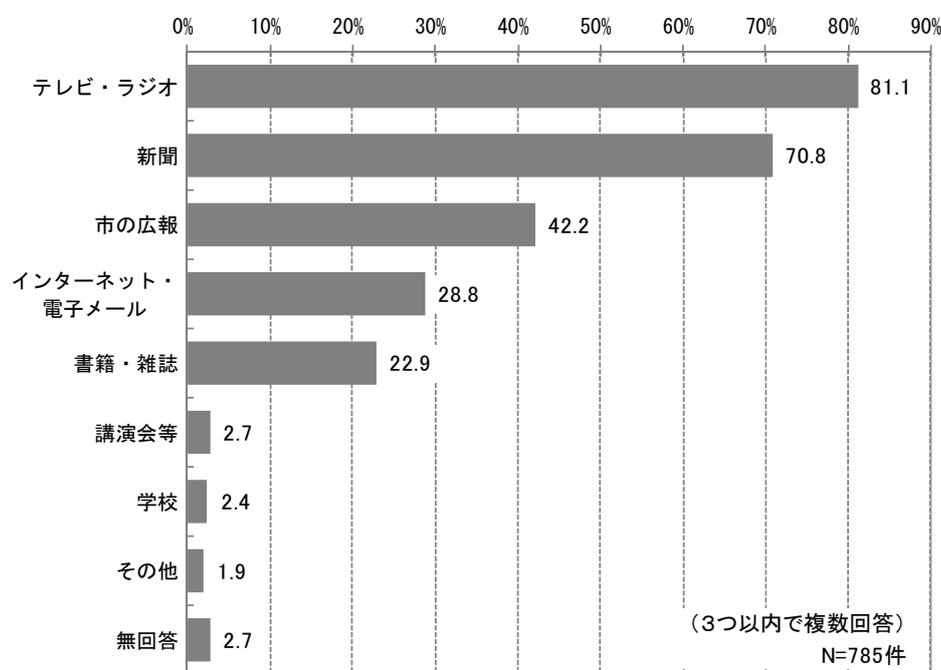


図 12 環境やエネルギー問題の情報源

## (6)地球温暖化問題への関心

### ①地球温暖化問題への関心度

問7 地球温暖化とは人間の活動の拡大により二酸化炭素(CO2)をはじめとする温室効果ガスの濃度が増加し、地球表面の温度が上昇することですが、あなたはこの地球温暖化問題のことに関心がありますか。

○地球温暖化問題への関心は、「少し関心がある」が最も多く49.9%、次いで多い「非常に関心がある」(30.6%)と併せると、『関心あり』が8割となっている。

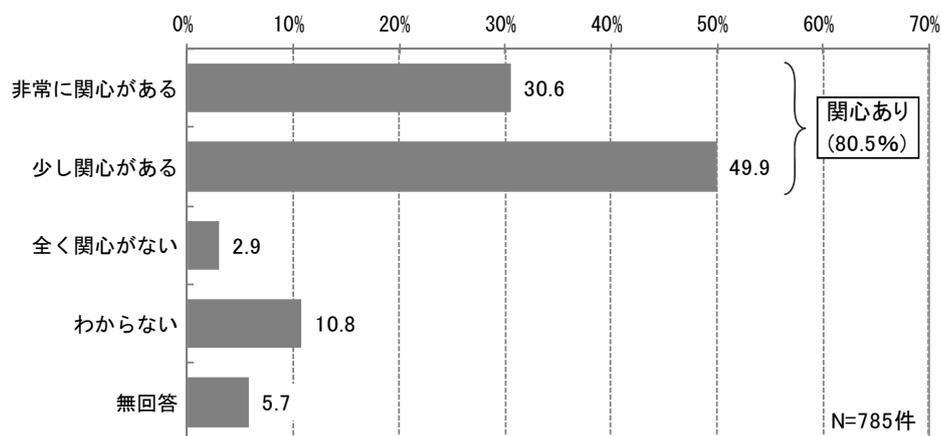


図 13 地球温暖化問題への関心度

### ②地球温暖化対策で最も重視すべきこと

問7で1または2と回答された方にお聞きします。

問7-1 地球温暖化対策に取り組む上で最も重視すべきことは何だとお考えですか。  
あてはまる番号に○を1つつけてください。

○地球温暖化対策で最も重視すべきことは、「化石燃料から太陽光など自然エネルギーへの転換を進めること」が最も多く24.5%、次いで「家庭で省エネルギーに取り組むこと」(20.7%)となっている。

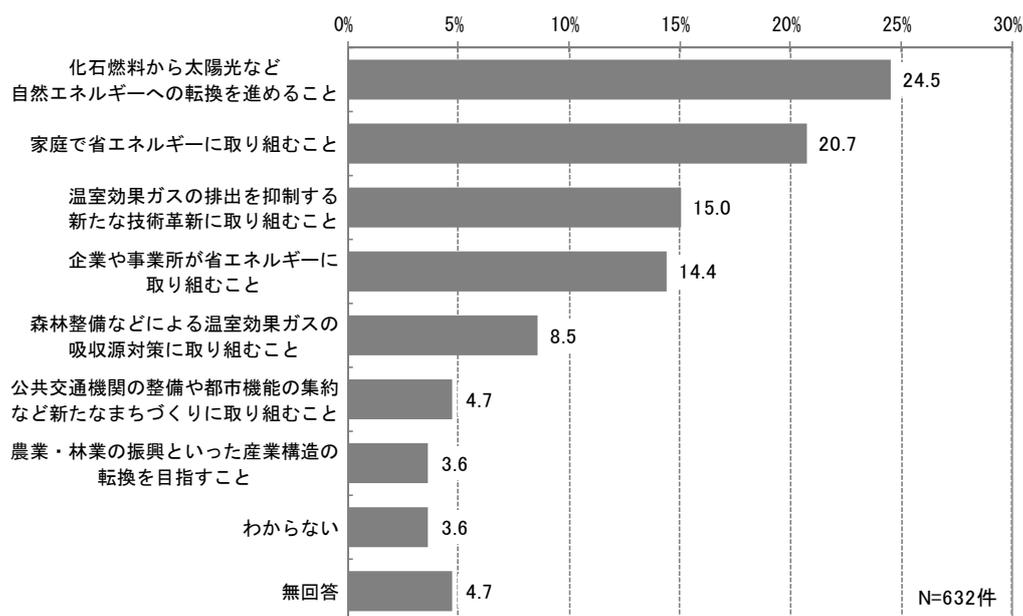


図 14 地球温暖化対策で最も重視すべきこと

## 2. 自動車の利用状況について

### (1) 普段の自動車の利用状況

#### ① 自身での自動車運転の有無

問8 あなたはご自分で車を運転されますか。

○自身での自動車運転の有無は、「運転する」が78.3%となっている。

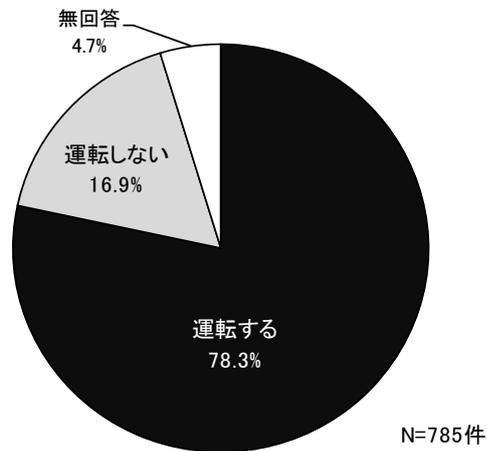


図 15 自身での自動車運転の有無

#### ② 普段の自動車の利用頻度

問8で「1. 運転する」と答えた方におたずねします。

問8—1 普段の自動車の利用状況についてお聞きします。

以下の各項目について、あてはまる番号に○をそれぞれ1つつけてください。

○普段の自動車の利用頻度(利用度)は、『④買い物や役所、銀行など』(1.77)が最も高く、次いで『⑥通院』(1.68)、『⑦行事・サークル』(1.42)となっている。

N=615件

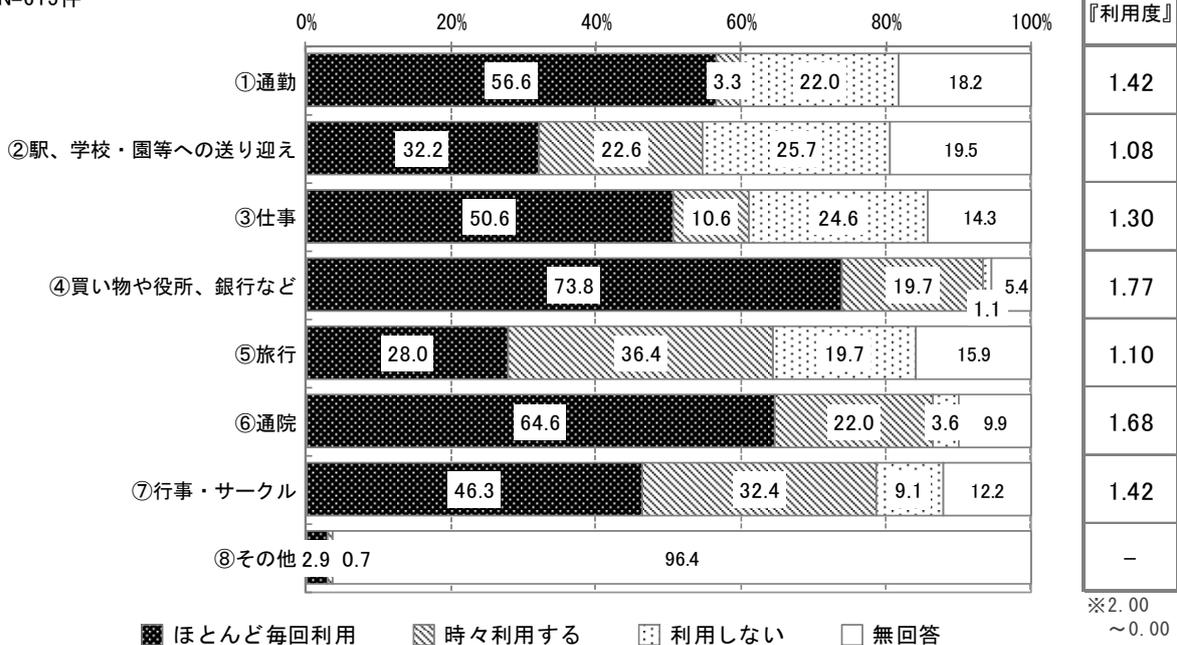


図 16 普段の自動車の利用頻度

## (2) 所有している自動車の台数・種類

問9 現在あなたのご家庭で所有している自動車の台数についてお聞きます。  
自動車の種類ごとに、あてはまる番号に○をそれぞれ1つつけてください。

- 所有している自動車の台数は、『②ガソリン車』の所有率が最も高く94.0%（無回答を除いた割合）となっている。次いで、『①ハイブリッド車、プラグインハイブリッド車』が20.7%（無回答を除いた割合）となっている。
- 『②ガソリン車』の所有台数は、「2台」が最も多く33.1%、次いで「1台」（21.3%）、「3台」（17.1%）となっている。
- 『①ハイブリッド車、プラグインハイブリッド車』の所有台数は、「1台」が最も多く16.6%となっている。

N=785件

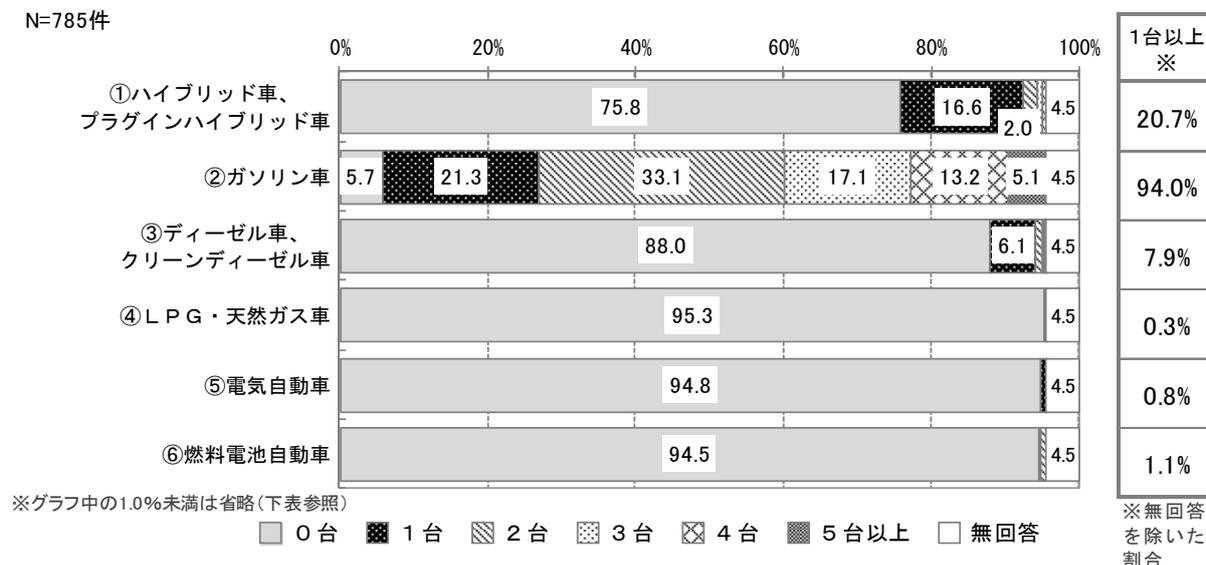


図 17 所有している自動車の台数・種類

表 2 所有している自動車の台数・種類

N=785件	0台	1台	2台	3台	4台	5台以上	無回答
①ハイブリッド車、プラグインハイブリッド車	75.8%	16.6%	2.0%	0.6%	0.5%	0.0%	4.5%
②ガソリン車	5.7%	21.3%	33.1%	17.1%	13.2%	5.1%	4.5%
③ディーゼル車、クリーンディーゼル車	88.0%	6.1%	0.9%	0.1%	0.3%	0.1%	4.5%
④LPG・天然ガス車	95.3%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%
⑤電気自動車	94.8%	0.6%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%
⑥燃料電池自動車	94.5%	0.3%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%

### (3) 今後1年以内の購入・買い替え予定

#### ① 今後1年以内の購入・買い替え予定の有無

問10 あなたのご家庭で、今後1年以内に自動車を購入または買い替える予定はありますか。

○今後1年以内の購入・買い替え予定は、「購入または買い替える予定がある」が14.5%となっている。

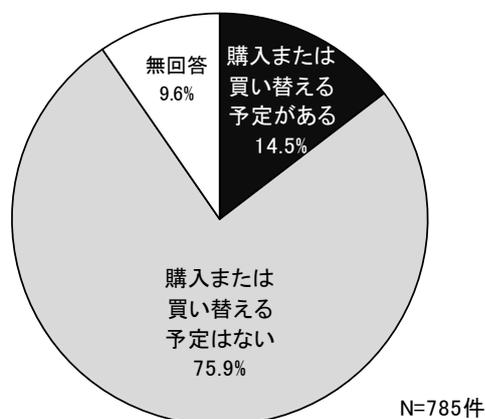


図 18 今後1年以内の購入・買い替え予定の有無

#### ② 購入予定の自動車タイプ

問10で「1. 購入または買い換える予定がある」と答えた方におたずねします。

問10-1 現在購入を予定している自動車は以下のどのタイプですか。

候補となっているものすべてに○をつけてください。

○購入予定の自動車タイプは、「ガソリン車」が最も多く56.1%、次いで「ハイブリッド車、プラグインハイブリッド車」(42.1%)となっている。

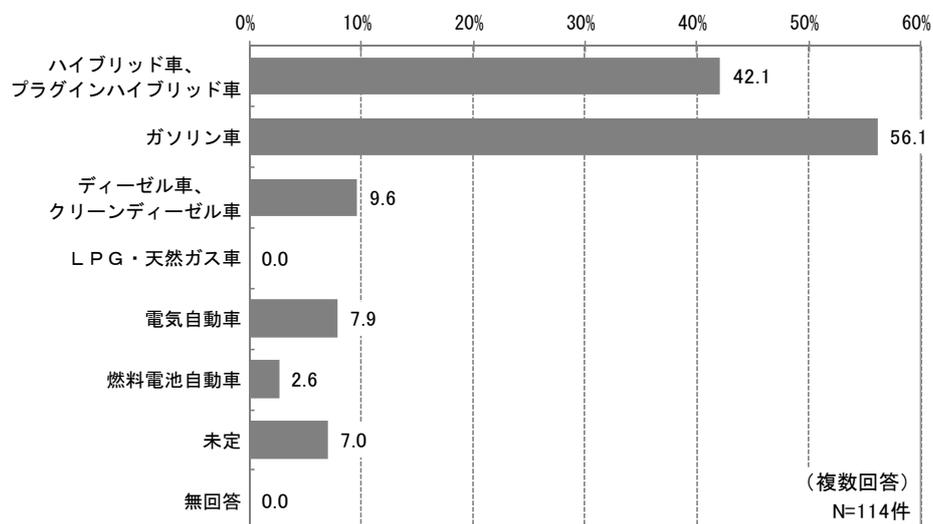


図 19 購入予定の自動車タイプ

#### (4) 充電スタンドの増設意向

問11 電気自動車の充電スタンドは増えてつありますが、県内ではまだ少ない状況です。充電スタンドはもっと増やすべきだと思いますか。

○充電スタンドの増設の意向は、「もっと増やすべきである」が53.1%となっている。

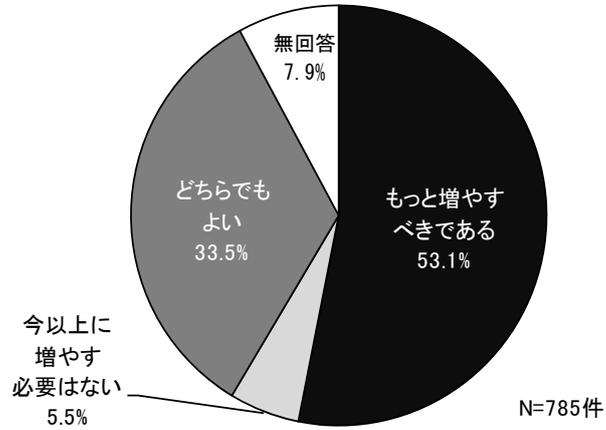


図 20 充電スタンドの増設意向

### 3. エネルギー問題について

#### (1) 化石燃料の将来についての考え

問12 日頃使用しているガス、ガソリン、灯油などの化石燃料について、将来どのようになるとお考えですか。あなたのお考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

○化石燃料の将来について考えは、「将来はなくなるが、別のエネルギー源を使えば問題ないと思う」が最も多く40.8%、次いで「近い将来なくなり、影響が現れるものと不安を感じている」(30.3%)、「当分はなくなるはずなので、不安はない」(21.1%)となっている。

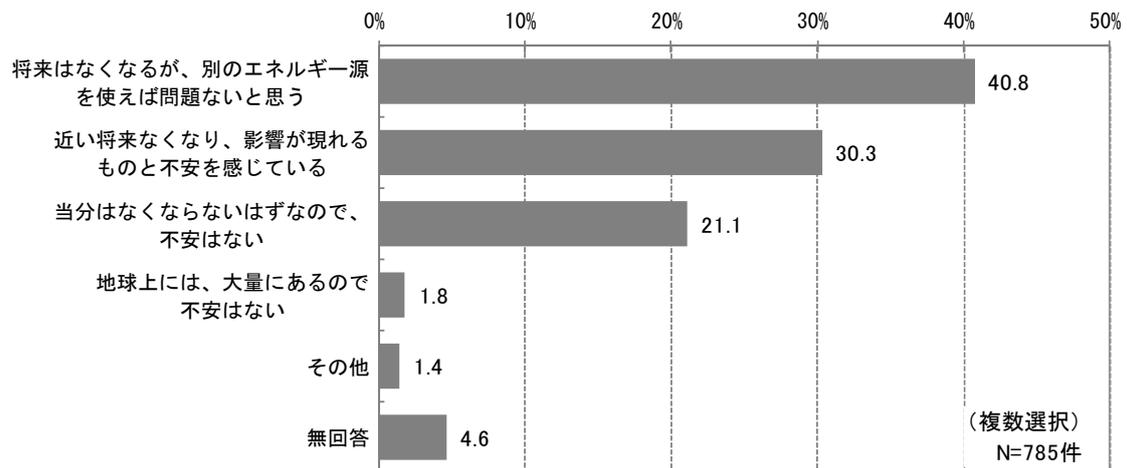


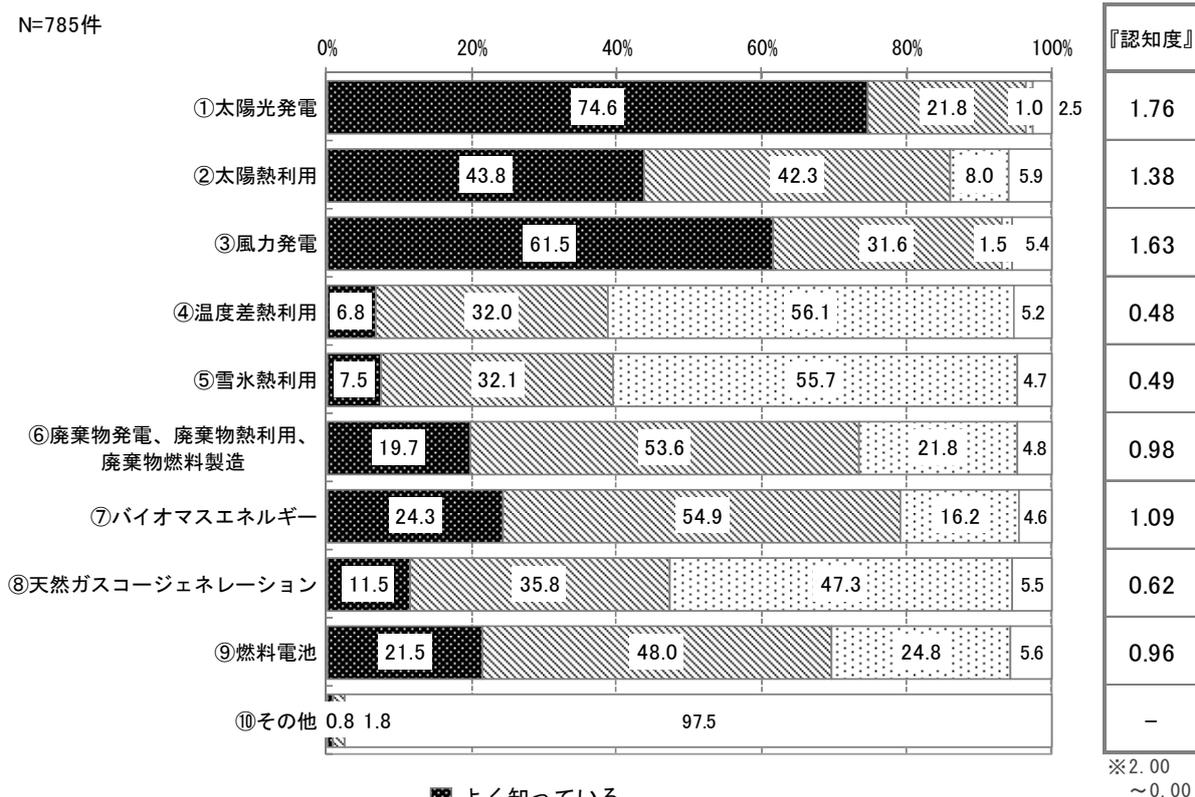
図 21 化石燃料の将来についての考え

## (2)新エネルギーの認知状況

問13 新エネルギーについてお聞きます。(以下の設問の「新エネルギー」には「革新的なエネルギー高度利用技術」を含んでいます。)  
以下の各項目について、あてはまる番号に○をそれぞれ1つつけてください。

○新エネルギーの認知状況(認知度)は、『①太陽光発電』(1.76)が最も高く、次いで『③風力発電』(1.63)、『②太陽熱利用』(1.38)となっている。

○一方、認知度が低い順にみると、『④温度差熱利用』(0.48)が最も低く、次いで『⑤雪氷熱利用』(0.49)となっている。



- よく知っている
- ▨ 聞いたことはあるが、どんなものかは知らない
- ▤ 聞いたことがない
- 無回答

図 22 新エネルギーの認知状況

### (3)新エネルギーの利用状況・利用意向

問14 あなたのご自宅での新エネルギーの利用状況、利用意向についてお聞きます。  
以下の各項目について、あてはまる番号に○をそれぞれ1つつけてください。

○新エネルギーの利用状況(設置率 ※無回答を除く)は、『④ヒートポンプ給湯器』が最も高く31.4%、次いで『①太陽光発電』(13.1%)となっている。

○「設置する予定がある」と併せると、『④ヒートポンプ給湯器』は35.7%、『①太陽光発電』は17.6%が利用意向ありとなっている。

N=785件

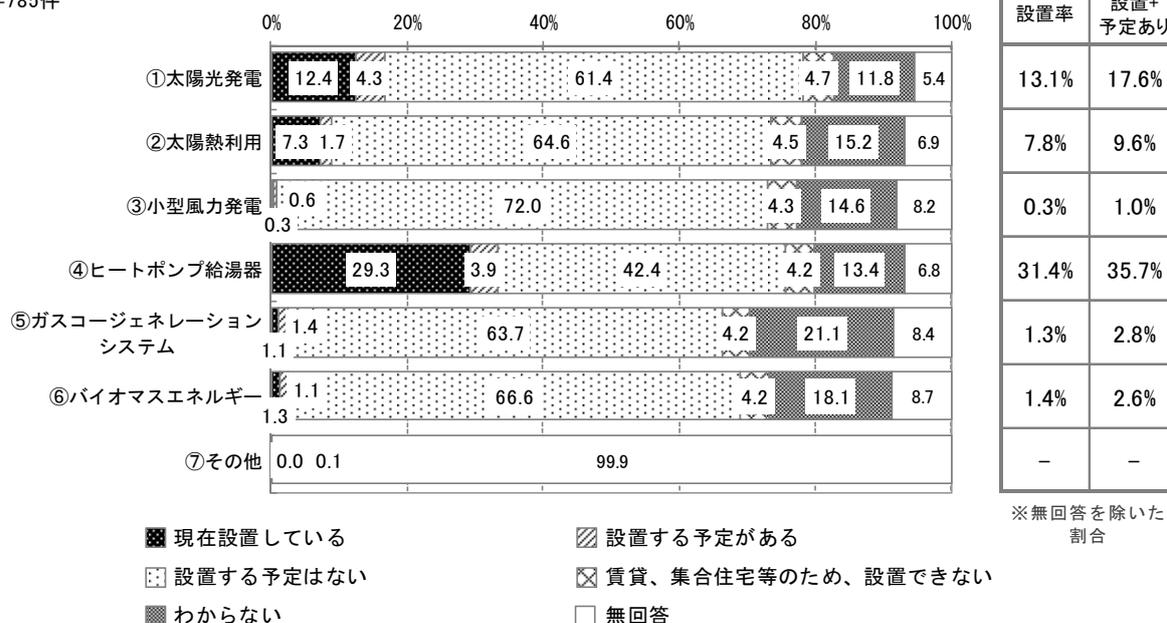


図 23 新エネルギーの利用状況・利用意向

#### (4)新エネルギー設置の問題点・課題

問15 あなたがご自宅に新エネルギーシステムの設置を考えた場合、どのような問題点、課題があるとお考えですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

○新エネルギー設置の問題点・課題は、「設備費用が高い」が最も多く79.6%、次いで「維持費用が高い」(45.2%)、「費用に対してのメリットがない、わからない」(43.8%)となっている。

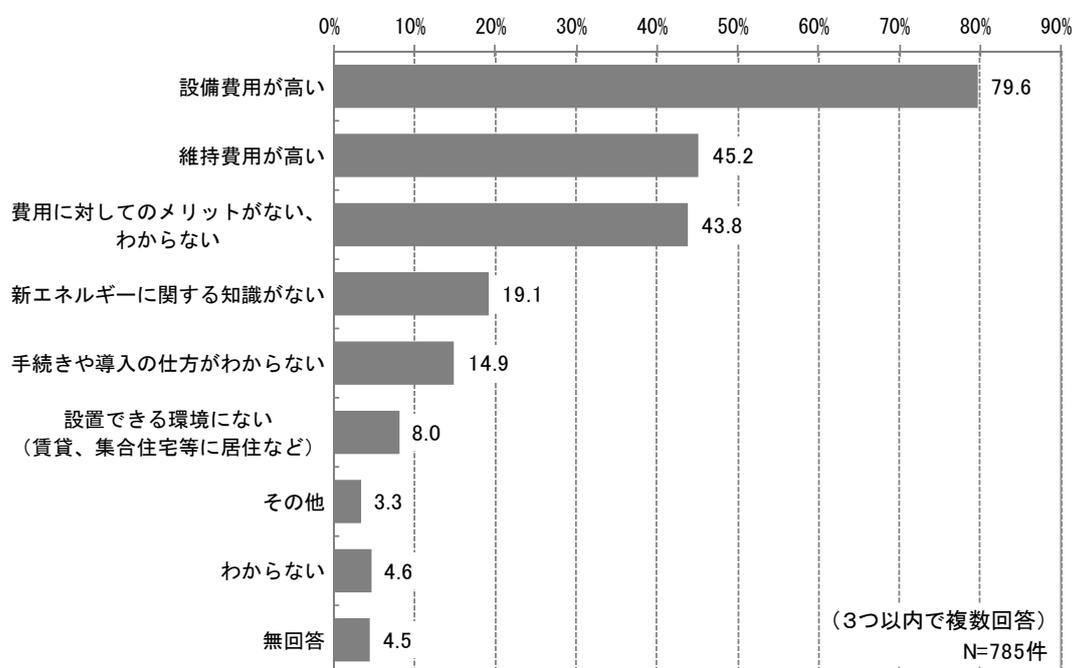


図 24 新エネルギー設置の問題点・課題

#### (5)新エネルギー普及のために最も重要な施策

問16 市内で新エネルギーシステムを普及する場合、どのような施策が必要と思われますか。最も重要と思われるもの1つに○をつけてください。

○新エネルギー普及のために最も重要な施策は、「廃棄物のエネルギー利用の推進」が最も多く26.0%、次いで「市民共同発電の推進支援」(25.2%)となっている。

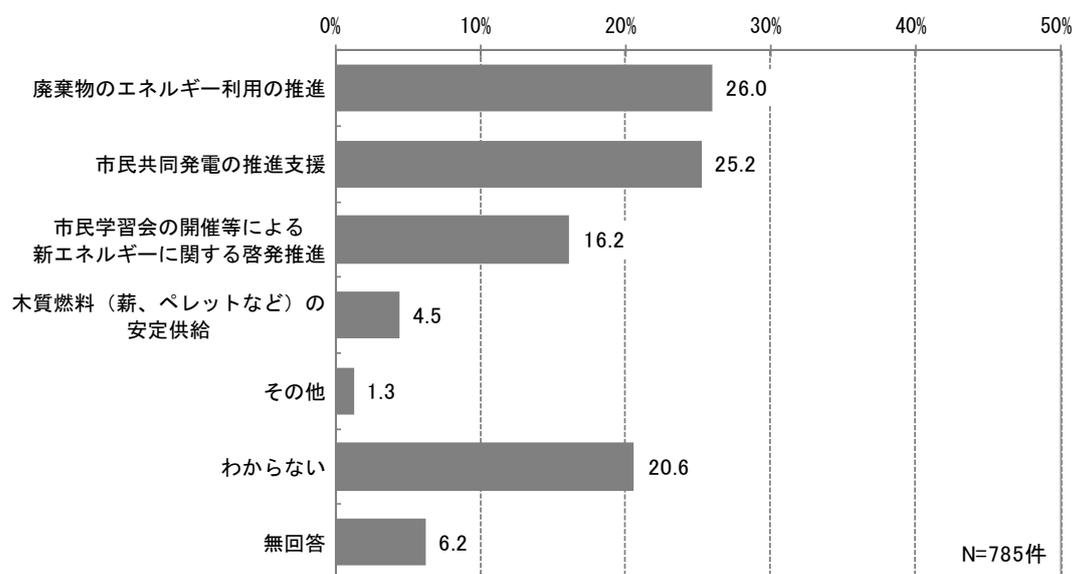


図 25 新エネルギー普及のために最も重要な施策

## 4. 甲賀市の取り組みについて

### (1)木質バイオマスエネルギーの利活用の推進意向

#### ①木質バイオマスエネルギーの利活用の推進意向

問17 今後甲賀市において積極的に木質バイオマスエネルギーの利活用を進めるべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

○木質バイオマスエネルギーの利活用の推進意向は、「問題がなければ利活用してもよい」が最も多く55.0%、次いで多い「積極的に利活用すべきである」(18.3%)と併せると7割強が利活用を推進の意向を持っている。

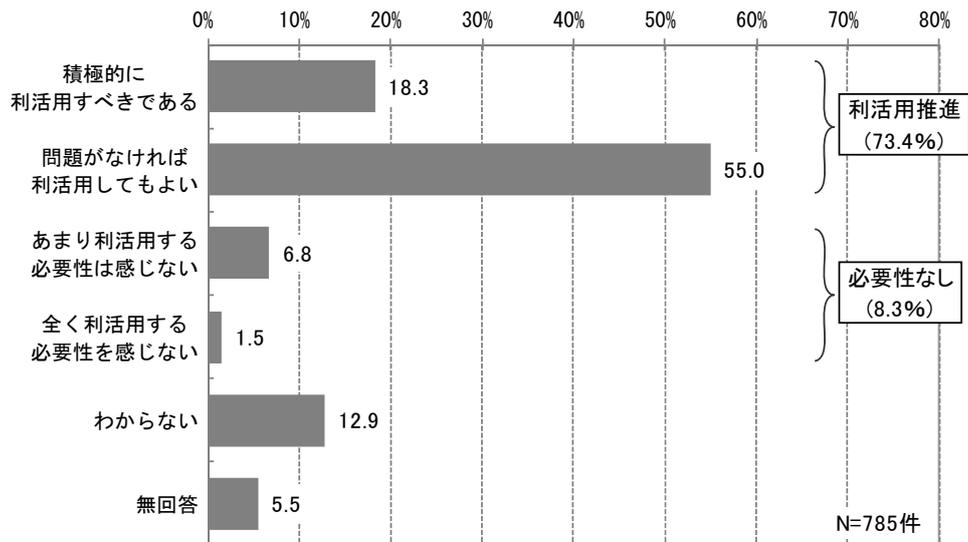


図 26 木質バイオマスエネルギーの利活用の推進意向

## ②利活用が進むために必要な動き

問17で1、2に回答された方におたずねします。  
問17-1 木質バイオマスについて、どのような動きがあれば利活用が進むと思いますか。  
あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

○利活用が進むために必要な動きは、「行政の支援・補助の充実」が最も多く81.1%、次いで「利活用の事例や新しい技術などの情報提供」(61.6%)、「設備導入のための指導」(44.3%)となっている。

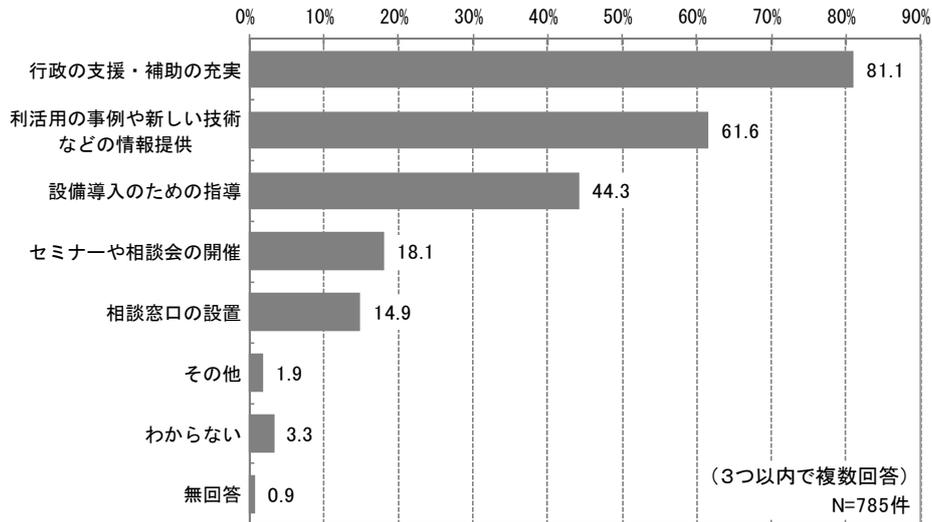


図 27 利活用が進むために必要な動き

## (2) 生ごみ堆肥化循環システムへの参加状況

### ① 生ごみ堆肥化循環システムへの参加状況

問18 生ごみ堆肥化循環システムへ参加状況(意向)についてお聞きします。

○生ごみ堆肥化循環システムへの参加状況は、「すでに参加している」が32.0%であり、「今後参加したい」が34.8%、「参加するつもりはない」は24.6%となっている。

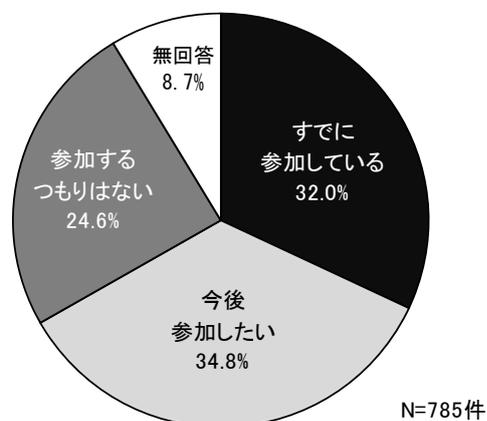


図 28 生ごみ堆肥化循環システムへの参加状況

### ② 生ごみ堆肥化循環システムに参加しない理由

問18で「3.参加するつもりはない」と回答された方におたずねします。

問18-1 参加されない理由をお聞かせください。

○生ごみ堆肥化循環システムに参加しない理由は、以下のとおりである。

表 3 生ごみ堆肥化循環システムに参加しない理由

居住地域	年代	性別	Q18-1 生ごみ堆肥化循環システムに参加しない理由
水口町	10 歳代	男	自治会がなくどうやって参加するのかわからない
水口町	10 歳代	女	特にないです。自分は学生なのでよくわかりませんが。
水口町	10 歳代	女	時間がない。
水口町	20 歳代	女	近くのゴミ置き場には回収容器が設置されていないため。においが気になるため。
水口町	20 歳代	女	よくわからないので。
水口町	20 歳代	女	手間がかかる。廃棄が大変である。
水口町	20 歳代	男	費用対効果が全くない。
水口町	20 歳代	女	よくわからない。
水口町	30 歳代	男	手間。
水口町	30 歳代	男	手間がかかるため。
水口町	30 歳代	女	一般家庭ですので。農家さんにおまかせします。
水口町	30 歳代	女	育児に忙しくそこまで手がまわらない。
水口町	30 歳代	女	家庭で生ゴミ乾燥機を持っているから。
水口町	30 歳代	女	田・畑の堆肥にしています。
水口町	30 歳代	男	メリットがイメージ出来ない。
水口町	30 歳代	男	課題があるはずであるが、明示されていないため。
水口町	30 歳代	男	生ゴミがあまり出ない。手間がかかりそう。
水口町	30 歳代	女	以前参加していたが、なかなか続けるのが難しい。
水口町	30 歳代	女	自治会がないためお金がかかりそうだから。
水口町	30 歳代	女	手間がかかるイメージがあるため。
水口町	30 歳代	女	面倒、手間。参加の方法を知らない。
水口町	40 歳代	男	場所がない。
水口町	40 歳代	男	よくわからないから。
水口町	40 歳代	男	環境が整っていない。

居住地域	年代	性別	Q18-1 生ごみ堆肥化循環システムに参加しない理由
水口町	40歳代	女	集合住宅のため、そのような環境になっていない。
水口町	40歳代	女	手間がかかりそうだから。
水口町	40歳代	女	生ごみだけを家庭で分別し、しばらく保管し、そしてゴミステーションへ持って行く手間がかかること。また分別する際に新たな容器等が必要なため。家事をできるだけ短時間で済ませたいため。
水口町	40歳代	男	自宅畑にて再利用している。
水口町	40歳代	男	堆肥ばかりもらっても使いみちに困る。
水口町	40歳代	男	臭気。
水口町	40歳代	女	分別が大変。種堆肥が少なく、取りに行くのも大変。容器購入が出せない。
水口町	40歳代	女	家の畑に生ゴミ用の容器を設置しているため。
水口町	40歳代	女	生ゴミ処理機を購入して、自宅で庭の肥料として使用しているから。
水口町	40歳代	女	手間がかかりそうだから。
水口町	40歳代	女	面倒で臭いも気になります。
水口町	50歳代	男	今はあまり関心、興味がない。
水口町	50歳代	男	手間がかかりそうだから。
水口町	50歳代	女	わざわざ収集場所に持っていくのが大変だから。収集場所が臭く感じるから（開けておられて臭いから）。
水口町	50歳代	女	面倒である。
水口町	50歳代	女	面倒。
水口町	50歳代	男	私自身の体が病気であり、歩行する事も困難なため。
水口町	50歳代	男	廃棄物のリサイクル化は大切なことだと思っています。正直、家庭で継続していく自信がありません。
水口町	50歳代	女	経費がかかりすぎる。採算がとれない。
水口町	50歳代	女	この方法でエネルギーを生み出すのにそれ以上の費用がかかるのではないか。回収も方法が面倒くさくなるのではないか。これだけの手間をかけて、どれだけのエネルギーを生み出せるのか。
水口町	60歳代	男	自分の都合のため。
水口町	60歳代	女	自宅で生ゴミ堆肥化し畑に利用している（コンポを利用し生ゴミ、米ぬか、もみガラ等を利用して）。
水口町	60歳代	女	市の取り組みがはじまる前から我が家では生ゴミ処理機を使っているから。
水口町	60歳代	女	生ゴミがあまり出ないから。
水口町	60歳代	女	住んでる所の問題。
水口町	60歳代	男	生ゴミコンポにより堆肥化している。
水口町	60歳代	女	家の前に田があり、穴をほって野菜・果物の皮等ほかしています。
水口町	60歳代	女	生ゴミの量が少ない（家族の多い家はたくさん出ますが、ほとんど一人分なので）。
水口町	60歳代	女	足腰が悪く、重量等の関係が心配です。
水口町	70歳以上	男	毎日の生ゴミの発生量が非常に少ないため、もえるゴミとして廃棄するのが合理的である。
水口町	70歳以上	女	集合住宅での一般廃棄物で処理してもらっている。
水口町	70歳以上	女	参加するにこしたことはないが、つい生ゴミの方になってしまいます。ごめんなさい。
水口町	70歳以上	男	高齢のため動けない（足も悪い）。
水口町	70歳以上	男	家で生ゴミに種堆肥を混ぜ堆肥にして家庭菜園に使用しているので。
水口町	70歳以上	女	足が痛い。目右、耳が聞こえないから参加しません。
水口町	70歳以上	女	手間が掛かるから。
水口町	70歳以上	男	生ゴミ等一切自家にて堆肥とし使用している。
水口町	70歳以上	男	わからない。
水口町	70歳以上	男	現在、病気療養中。
水口町	70歳以上	女	自分では何もできないから。
土山町	10歳代	女	よくわかりません。
土山町	20歳代	女	バケツ買わなあかんから。無料でくれるならする。買ってまで面倒な事する時間がない。（子供1歳、3歳いるから大変）
土山町	30歳代	男	時間がない。
土山町	30歳代	男	堆肥化は一部の家庭でしか必要がないのではと思う。
土山町	30歳代	男	畑の肥料として利用するため。
土山町	30歳代	女	知識がなく取組む必要性もわからないため。
土山町	40歳代	女	堆肥をもらっても使用することがない。

居住地域	年代	性別	Q18-1 生ごみ堆肥化循環システムに参加しない理由
土山町	40歳代	女	知りませんでした。知る機会がありません。
土山町	60歳代	女	容器を置くスペースがない
土山町	60歳代	男	行政の仕事である。協力はするが。
土山町	70歳以上	女	畑のゴミ入れに捨ててます。
土山町	70歳以上	女	どうしていいかわかりませんから参加できません。
甲賀町	20歳代	男	生ゴミ以外のゴミが入るから。
甲賀町	30歳代	男	田、畑を使用していないから。
甲賀町	30歳代	女	良いシステムと思うが、堆肥を必要としておらず、参加するメリットも手間を考えるとあまりあるとは思えないので。
甲賀町	40歳代	男	家から出る生ゴミは堆肥にして野菜に与えているから。
甲賀町	40歳代	女	手間なのでついてもえるゴミと一緒にしてしまう。
甲賀町	50歳代	男	畑に埋めているため。
甲賀町	50歳代	男	生ゴミ量が少ないから。
甲賀町	50歳代	男	めんどろである。
甲賀町	60歳代	男	生ごみは現在可燃ごみで処理している。分別するととなると運用（容器、BOXのキャパ）に問題が出る。
甲賀町	60歳代	女	集合住宅のため、条件が整えば参加もあり。
甲賀町	60歳代	男	生ゴミあまり出ない。
甲賀町	60歳代	男	分別が面倒。堆肥の利用がない。
甲賀町	70歳以上	女	今の所、家で堆肥化している→畑に使用。
甲賀町	70歳以上	女	家で生ゴミ機に入れて畑へ使用している。
甲賀町	70歳以上	男	自分の畑に穴を掘って埋めている肥になる。
甲賀町	70歳以上	女	家庭用生ゴミコンポを使用している。
甲賀町	70歳以上	女	高齢のため、作業の工程がやりづらいので出来ません。
甲賀町	70歳以上	女	分からない。
甲賀町	70歳以上	女	高齢なので、収集所へ持って行くのが大変。コンポに入れて畑に掘り込んでいます。
甲南町	10歳代	男	自己再生している。
甲南町	10歳代	女	苦手である。
甲南町	20歳代	男	聞いたことがない。
甲南町	20歳代	女	面倒くさそうだから。
甲南町	20歳代	男	忙しい。
甲南町	20歳代	男	堆肥はいらないから。
甲南町	20歳代	男	手間やコストがかかるため。
甲南町	30歳代	女	参加の仕方がわからない。
甲南町	40歳代	男	その前に一丁目のゴミステーション見てください。見に来てください。希望が丘はひどいです。日も関係なく缶などのBOXに勝手に捨てるし、マジにひどすぎます。
甲南町	40歳代	女	生ごみ処理機を利用しているから。
甲南町	40歳代	女	忙しくて時間がない。
甲南町	50歳代	男	堆肥を使用しないため。
甲南町	50歳代	男	自宅で堆肥コンポストを設置しているから。
甲南町	50歳代	女	以前、自宅で個人的にやっていて、あまりの悪臭に困り、全く参加する気になれません。
甲南町	50歳代	女	手間がかかりそう。
甲南町	50歳代	女	生ゴミを堆肥化してもすべて活用できず処理に困る。
甲南町	50歳代	女	手間がかかる感じがする。
甲南町	50歳代	女	堆肥を使わない。
甲南町	50歳代	女	夏場の管理が不衛生。（週2回の回収では臭い。）
甲南町	50歳代	男	生ゴミの量が少ないため。
甲南町	50歳代	男	自宅の畑で使っている。
甲南町	50歳代	男	臭いと面倒くさそうだから。
甲南町	50歳代	女	既に生ゴミコンポを利用して畑の堆肥としているため。
甲南町	50歳代	女	ど田舎は大嫌いだから。
甲南町	50歳代	女	小動物が家の廻りに来るので。
甲南町	60歳代	男	特に必要性を感じない。
甲南町	60歳代	男	行く暇がない。
甲南町	60歳代	女	以前参加していましたが、面倒なので止めました。

居住地域	年代	性別	Q18-1 生ごみ堆肥化循環システムに参加しない理由
甲南町	60歳代	女	生ゴミ乾燥機使用のため必要なし。
甲南町	60歳代	男	生ゴミだけを分別して持っていくのが大変。堆肥化までに多くの税金が使われているのではと思う。
甲南町	60歳代	女	労多くして、益少ないと考えている。
甲南町	60歳代	女	水切りが大変だと思うから、毎日のことだから続かないと思います。
甲南町	60歳代	女	今のところ土に親しむ趣味がないので。面倒くさがりで主旨は理解してるつもりだが、継続の自信がない。
甲南町	70歳以上	男	年齢の問題。
甲南町	70歳以上	男	一人世帯なので発生する生ゴミ量が少ない。又、高齢のため手がまわらない。
甲南町	70歳以上	男	年齢的にムリ。
甲南町	70歳以上	女	野菜も何も作っていない為。
甲南町	70歳以上	女	特になし。
甲南町	70歳以上	男	堆肥利用がない。
甲南町	70歳以上	女	もう年なので団体行動は無理です。個人で堆肥として利用しています。
甲南町	70歳以上	女	私の地区でも何年か前からやっておられますが、分類が出来そうにないので参加しておりません。申し訳ないことです。
甲南町	70歳以上	女	生ゴミは最少にし、野菜クズなどは畑に入れている。
信楽町	20歳代	女	家でしてる。
信楽町	40歳代	女	よく分かりません。
信楽町	40歳代	女	細かい分別が面倒だから。手間もかかるしゴミ出しが大変だから。
信楽町	50歳代	男	家庭内での保存が困難と思う。(一時的、出しに行く手間)
信楽町	50歳代	女	家庭で畑などに堆肥を作っている。
信楽町	50歳代	女	バケツ設置する場所がない。もっと簡単な方法があれば…。
信楽町	50歳代	男	よくわからない。
信楽町	60歳代	男	腰痛のため重いものが持ち運べない。
信楽町	60歳代	男	関心がない。
信楽町	60歳代	女	設備費用がかかるから。
信楽町	60歳代	女	生ゴミの分別がかなり細かいので難しく思うから。生ゴミとシステム用と一般用に分けないといけないから。
信楽町	60歳代	女	野菜づくりや花など育てようと思い、畑がないのでプランターで栽培をすると、サルがやってきて抜いてしまい育てられなかったので、堆肥が必要ないので。
信楽町	60歳代	女	持っていくの面倒。
信楽町	60歳代	女	時間と場所がない。
信楽町	60歳代	女	野菜の残り、庭の草等自分で堆肥として土作りをしている。
信楽町	70歳以上	女	二人暮らしであまりゴミが出ないので。
信楽町	70歳以上	男	日々の生活に追われている。
信楽町	70歳以上	女	90歳になり若い者に頼りきっています。今も娘に代筆してもらっています。
—	—	—	少量のため

### (3) 生ごみ堆肥化循環システムへの参加世帯を増やすために必要なこと

問19 現在、約8,900世帯がこの生ごみ堆肥化循環システムに参加されています。  
参加をもっと増やしていくためには、どのようなことが必要とお考えでしょうか。

○生ごみ堆肥化循環システムへの参加世帯を増やすために必要なことは、以下のとおりである。

表 4 生ごみ堆肥化循環システムへの参加世帯を増やすために必要なこと

居住地域	年代	性別	問 19 生ごみ堆肥化循環システムへの参加世帯を増やすために必要なこと
水口町	10 歳代	女	このようにやったら、こういうメリットがある！みたいないろんな情報を常に発信していくべき。
水口町	10 歳代	女	生ゴミ堆肥化循環システムを皆に知ってもらうことから始めるべきだと思います。必要な道具を配布すれば参加する人も増えると思います。
水口町	10 歳代	女	若い世代に向けて分かりやすく呼びかける。
水口町	20 歳代	男	補助金、メリットの丁寧な説明、学校教育。
水口町	20 歳代	男	認知度の拡張→市民にメリットはあるのか。メリットが少なかったら増えることはないだろう。→つまり、市民へのフィードバック次第で変わってくる可能性が高い。
水口町	20 歳代	女	市民の生ゴミ堆肥化循環システムへの認知度を高める工夫。将来、参加する世帯増加のため、小・中・高等学校でも紹介すること。
水口町	20 歳代	女	マンションやアパートに住んでいる人達は、この取り組みを知っている人が少ないイメージがあるため、そこにチラシを作り、ポスティングするなどが必要ではないか。
水口町	20 歳代	女	広報紙等での日常的な積極的な呼びかけ。
水口町	20 歳代	女	堆肥バケツの劣化時に無料で交換できる（冬場設置しているとよく割れます）。堆肥バケツの摂津場所（賃貸住宅とかスペースの少ないところでは置きにくい）。生ゴミを田畑肥料として必要とされている家庭があれば、どうなのかわからない。
水口町	20 歳代	女	参加していない世帯にもお試して無料配布する。
水口町	20 歳代	女	廃棄場所の拡大。
水口町	20 歳代	男	十分なメリット。
水口町	20 歳代	男	ムダがでないようにする。
水口町	20 歳代	男	若い世帯への啓発（健診などで。手間と思わない説明が必要。）。CO2 削減効果の見える化（個人への証書やHP など）。全国的に先進事例であることの PR。
水口町	20 歳代	女	自治会などでの呼びかけ。
水口町	30 歳代	男	補助金の PR と上積み。
水口町	30 歳代	男	市民理解。家のバケツはビミョー。直接で良かったのでは。もっと捨てる場所細かく。
水口町	30 歳代	男	各家庭で参加したくなるようなシステムの導入。システムの公知化など。
水口町	30 歳代	女	回数（回収）を増やし、バケツをもう少しコンパクトに…。
水口町	30 歳代	女	生ゴミ堆肥化ポスト（灰色の入れ物）の設置料を増やす。
水口町	30 歳代	女	わかりません。
水口町	30 歳代	女	生ゴミ回収所を増やす又は容器が重く回収所まで運ぶ事が困難な方（高齢の方など）のために回収にまわるシステムをつくる。種堆肥を家庭まで届けてくださるシステムをつくる。
水口町	30 歳代	女	家で生ゴミ容器を容易するのが大変。夏場の臭いなど。
水口町	30 歳代	女	セミナー開催。行政支援活動。
水口町	30 歳代	女	各家に配ってほしい。やろうとは思いますが、面倒くさそうで行動におこせない。
水口町	30 歳代	女	田・畑のない団地へ参加を呼び掛ける。
水口町	30 歳代	女	生ゴミと、袋やプラなどの分別が調理中面倒くさいので、野菜などの袋を省いて販売する。
水口町	30 歳代	女	衛生上の問題や、のら猫がさわらない環境が必要だと思う。
水口町	30 歳代	男	説明会などをする
水口町	30 歳代	男	人から人へつなげていく動きをしていく必要がある。
水口町	30 歳代	男	周知が必要。
水口町	30 歳代	男	本当にメリットがあるのか周知させる。
水口町	30 歳代	男	税金と費用対効果を「正しく」示すこと。臭気など環境への影響性を考慮する。特定業者との癒着をなくす。
水口町	30 歳代	男	周知徹底が必要。
水口町	30 歳代	男	もっと誰にでもわかりやすい様に説明、解説が必要だと思う。

居住地域	年代	性別	問 19 生ごみ堆肥化循環システムへの参加世帯を増やすために必要なこと
水口町	30 歳代	男	アピールしていく必要があると思いますが、その際にシステム導入にあたり、デメリットがあるのでしたらそれを隠さずメリットもデメリットも説明するべきだと思います。本当に素晴らしい事ならそれを理解した上で参加してもらえははずです。
水口町	30 歳代	男	もっと宣伝活動をしていけばいいと思います。あとはメリットや説明をしていく場所を設けていけばいいと思います。
水口町	30 歳代	女	広告とエコポイントのようなメリットをつけると良いのでは
水口町	30 歳代	女	マンション等の入居者の回収を高めるなど行政の支援。
水口町	30 歳代	女	ゴミ捨て場まで持って行くので面倒。
水口町	30 歳代	女	どうやって参加するのか知りたい。そのようなシステムが身近にない。
水口町	30 歳代	女	自治会の協力がもっとあれば良いと思います。
水口町	30 歳代	女	定期的に参加に呼びかける。(1年に数回)常に回覧板に、システムや参加方法をはさんでおく。
水口町	40 歳代	男	設備への知識、便利さ。
水口町	40 歳代	男	もっと簡単にできる方法はないか。容器の無償提供など。
水口町	40 歳代	男	補助金。
水口町	40 歳代	男	システムの理解の推進。
水口町	40 歳代	男	バケツをもっと大きくして、カートも(キャスター)を付けたらどうだろう。生ゴミを出す所の箱が高くて入れにくいのでは…。
水口町	40 歳代	男	アイコム甲賀などでの呼びかけ。
水口町	40 歳代	女	周知する。やってみて大変さはなく、夏も普通ごみが臭わない等のよさがあることを広く伝える。
水口町	40 歳代	女	全額補助金希望
水口町	40 歳代	女	新家庭への容器の提供。入れてよい生ゴミと入れてはいけないものを知らせること(ゴミ集積所に掲示するなど)。たまねぎの皮、卵のから、貝など違います。迷うゴミは普通ごみで良いとして私は取り組んでます。
水口町	40 歳代	女	積極的な呼びかけ。
水口町	40 歳代	女	もっと参加しやすくなるように、どんなものなのかをわかりやすく教えてもらいたい。
水口町	40 歳代	女	全戸配布と収集方法。
水口町	40 歳代	女	生ごみ専用の容器の提供。ゴミステーションでの作業の簡便化。
水口町	40 歳代	男	地域説明会、ワークショップをやってはどうでしょう。
水口町	40 歳代	男	種堆肥以外の物を配布してはどうか。
水口町	40 歳代	男	実施の必要性に対する啓発。
水口町	40 歳代	男	必要性のアピール。
水口町	40 歳代	女	容器の配布、各家への回収、堆肥の配布。
水口町	40 歳代	女	堆肥ゴミを自宅に入れるゴミ箱は至急知る。
水口町	40 歳代	女	生ゴミを毎日回収する。
水口町	40 歳代	女	補助金などメリットがあると増えるのでは。
水口町	40 歳代	女	各自治体へ働きかける。説明会を開く。
水口町	40 歳代	女	このシステムが自然環境を良く保つために、どれだけ有意義なものであるかを理解できる教育環境があることが重要だと考えます。
水口町	40 歳代	女	ゴミ集積所がもっと自宅に近いと良い。ひとり暮らしの高齢な方にはムリだと思う。
水口町	40 歳代	女	宣伝を増やす。堆肥の袋は各戸に配達するようにする。
水口町	40 歳代	女	個々人の意識の向上と時間的余裕。
水口町	40 歳代	女	参加したいのですが、村の役員さん次第です。なかなか難しいです。
水口町	50 歳代	男	地域、学校をあげての集団的な取り組み。
水口町	50 歳代	男	広報→利用事例、利用者の声等。
水口町	50 歳代	男	周知徹底。
水口町	50 歳代	男	近くに生ごみ堆肥化循環システムがない。どこにあるかも知らない。町内等、ゴミ集積所に設置をすれば分かりやすいのではないかと。
水口町	50 歳代	女	導入するための情報を広報などに大きくのせるほうが良いと思う
水口町	50 歳代	女	自治会等で説明、推進していく。
水口町	50 歳代	女	広報活動。近隣ではまだ、システムを知らないご家庭が多いです。
水口町	50 歳代	女	行政の支援や補助。
水口町	50 歳代	女	生ゴミをゴミ置き場に持って行き、種堆肥を持って変えるのが大変。もう少し簡単に出来るようにしてほしい。

居住地域	年代	性別	問 19 生ごみ堆肥化循環システムへの参加世帯を増やすために必要なこと
水口町	50 歳代	女	いつも利用していますが、お年寄りの方には回収容器が大きいのでフタも開けにくく入れにくいようです。少し背の低いものも設置して欲しいです。
水口町	50 歳代	女	もっと簡単にできればいい。
水口町	50 歳代	女	市の指導が重要（なぜ必要なのか？）。
水口町	50 歳代	男	システムの説明を明確に。
水口町	50 歳代	男	なぜ生ゴミ堆肥化循環システムが必要であるか PR を行うことが大事。又、参加型では増えないと思う。
水口町	50 歳代	男	啓蒙活動の推進。
水口町	50 歳代	男	どれだけ有効かを周知する啓発。
水口町	50 歳代	男	システムの説明と呼びかけ。
水口町	50 歳代	男	広報宣伝。
水口町	50 歳代	男	大々的な PR を定期的に行う。例えば、広報に大々的な特集を組む等。
水口町	50 歳代	女	やめるべき。
水口町	50 歳代	女	積極的な活用の呼びかけ。容器の補助。
水口町	50 歳代	女	生ゴミ分別容器の設置基準に何軒以上とあるが、周囲で人数が集まらない為、少人数もしくは個人でも出せるようにしてほしい。
水口町	50 歳代	女	水口町以外の方はこのようなシステムをあまり知らないの、もっと普及に努めるべき。
水口町	50 歳代	女	手間とお金がかからない方法を考える。
水口町	50 歳代	女	参加する家庭には容器や堆肥の補助があれば取り組みやすい。
水口町	50 歳代	女	モラル。
水口町	50 歳代	女	地区の収集場所をもっと増やして歩いて持って出れるくらい楽ならいい。
水口町	50 歳代	女	回収場所の増加と、運ぶ回数は増えるかもしれないが、年寄りでも持ち運びが楽な小さめの容器も用意してはどうか。
水口町	60 歳代	男	何のために参加するかを説明。入り方の分からない人がいる。積極的な宣伝。（公報、テレビ、チラシ）
水口町	60 歳代	男	若い奥さん方は野菜づくりに興味がなく、自家栽培した野菜も使っていない。この現状を打開するにはどのようなことをすればよいのでしょうか。汚いものという先入観を拭い去らないとダメ。虫も食わない野菜は怖い道理がわかっていない。
水口町	60 歳代	男	共同住宅に住んでいる方は、スペース的に苦しいと思うので、共同の容器スペースを確保すれば参加が増える可能性あり。
水口町	60 歳代	男	考えているんですけどら年何回かの説明会の実施を願います。
水口町	60 歳代	男	参加しているが、業者の利益になっているようで金銭面の透明な説明も必要と思います。
水口町	60 歳代	男	生ゴミ回収容器の設置箇所を多くする。家庭用バケツの販売店を増やす。ポスターを作成し PR する。
水口町	60 歳代	男	生ゴミ堆肥化された堆肥を家庭菜園や花壇の他、農業生産用として活用する。
水口町	60 歳代	男	回収場所まで遠いので、燃えるゴミのようにまとめて持っていけないのがネックになっている。回収場所をどの家庭も歩いて行ける範囲にまで増やせば参加が増えると思う。
水口町	60 歳代	男	生ゴミ回収容器に入れれば OK 等簡便な方法。
水口町	60 歳代	女	生ゴミペールもう少し大きくしてほしい。
水口町	60 歳代	女	情報提供の推進（取り組み）。
水口町	60 歳代	女	再三の呼びかけ。
水口町	60 歳代	女	参加したいと思いますが、参加の仕方がわかりません。
水口町	60 歳代	女	生ゴミ回収容器の設置場所の増加により参加が増えるのではないか。
水口町	60 歳代	女	一人二人では出来ない為、組織単位の為なかなかまとまらない。
水口町	60 歳代	女	我が家では実施しているが、参加者を増やすには環境行政に対する PR や参加促進への説明会などを市役所から出向いて実施すべきである。
水口町	60 歳代	女	参加したいと思っても、どうすればよいか、どこに申し出たらよいか知りません。こちらが情報はあっても（公報？）見落としているのでしょうか？
水口町	60 歳代	男	指導、セミナー。
水口町	60 歳代	男	このシステムを知らない市民も多く、啓発活動を更に充実することも必要。
水口町	60 歳代	男	廃棄しやすい高さの容積の回収容器が必要。
水口町	60 歳代	男	具体的方法についての指導が必要だと思う。
水口町	60 歳代	男	行政並みに自治会からの通知。

居住地域	年代	性別	問 19 生ごみ堆肥化循環システムへの参加世帯を増やすために必要なこと
水口町	60 歳代	男	ごみの仕分けが大変で、他の町はしていないところがあり、やはりゴミは出しやすいようにしてほしいものです。
水口町	60 歳代	男	区、自治会が場所を指定、設定して、地域ぐるみで行う。
水口町	60 歳代	男	容器の提供。
水口町	60 歳代	女	広報活動。
水口町	60 歳代	女	畑を作っている家庭では、穴をほって処理している方が多いため、広げていくには難しいと考えます。
水口町	60 歳代	女	堆肥をあまれば友達にあげて喜んでもらってます。びわ湖放送での、もう少しあれ良いなあを思える宣伝を。
水口町	60 歳代	女	家庭での一時保管時ににおいがしないなど、取り扱いが燃えるゴミを出す時のように簡単にできる方法を考えてもらいたい。
水口町	60 歳代	女	市民がもっと上記のシステムに取組むべきです。生ゴミに対する意識をもっと知るべきだと思います。
水口町	60 歳代	女	情報が大切と思う（常時しているがとても利用しやすく、作物にもいいと思う）。
水口町	60 歳代	女	生ゴミ堆肥化循環システムに参加していても実際に使っていないので、実感がない。野菜作りや花づくりに使ってみてこんな風に使えるのだと知ることが大切。
水口町	60 歳代	女	少人数家族で利用できるようなコンパクトなやり方があれば参加しやすいのですが。
水口町	60 歳代	女	燃えないゴミと一緒に義務化すれば良い。
水口町	60 歳代	女	回収回数の増加。
水口町	60 歳代	女	もう一度必要性、市の取り組みなどの説明を広めればよいのではないのか。
水口町	60 歳代	#N/A	一人一人の意識の問題。難しい。
水口町	70 歳以上	男	家庭に PR すべき。
水口町	70 歳以上	男	義務付けること。
水口町	70 歳以上	男	情報提供、教育。
水口町	70 歳以上	男	登録の仕方を広報等で積極的に周知してほしい。
水口町	70 歳以上	男	住民の考え方を変えないといけない。グループが作れていない。市からの啓発活動を推進して欲しい。家外での処理によりカラス等の餌になっている。
水口町	70 歳以上	女	指定バケツ（家）早く満杯になるので、近頃ゴミに出すこともある。また、指定場所が遠方で出しにくいことも有り。集積場を多くしてほしい。
水口町	70 歳以上	女	一度家庭でバケツ処理してから、集積所まで運ぶのが一寸大変。
水口町	70 歳以上	女	個人の意識強化。
水口町	70 歳以上	女	啓発活動。広報（意義）。
水口町	70 歳以上	女	地区での学習会が必要と考えます。
水口町	70 歳以上	男	集積場へ出すまでの手間の簡略化。
水口町	70 歳以上	男	区民皆に周知すること。
水口町	70 歳以上	男	参加されていない方への説明を市が行ってください。
水口町	70 歳以上	男	設置場所を増やすようにすればいいと思います。
水口町	70 歳以上	女	広報等でもっと知らせることが必要だと思う。
水口町	70 歳以上	女	ごみ収集所に堆肥コンポを置いたら良いかも。
水口町	70 歳以上	男	堆肥化を進める上で堆肥化出来ないものを混入しない様に徹底する意識が必要である。少量のビニールやプラスチック類が混入している場合があり種堆肥の中にその混在するのを見ることがあります。堆肥化出来ないものを一緒に投入しないようにする事が大切であり、常にその意識を持って処理する心がけが大切です。折角このような循環システムを構築されたので、長く続けられるようにお願いします。
水口町	70 歳以上	男	次世代の若い人（75歳までの人）の参加教育が必要です
水口町	70 歳以上	男	システムのメリット等を具体的に示す等の PR の徹底。
水口町	70 歳以上	男	参加者が少ない。広報がもっと必要と思います。
水口町	70 歳以上	女	現在の生ごみ収集を肥料に替えたりすごいことだと思います。ただし、高齢者が収集場所までいけない状況にあり得ると思うし、現在私も持って行けないので困っている。こうなった時はどうすれば良いか。現在はご近所の人の手助けを頂いています。
水口町	70 歳以上	女	畑に入れると、ネコ、犬が掘ります。堆肥化システム有り難しく思っています。
水口町	70 歳以上	女	広報を増やす。
土山町	10 歳代	女	まず説明することが大切だと思う。
土山町	20 歳代	男	参加しない世帯を燃やす。
土山町	20 歳代	男	個人でも自由に参加できるようにし、会員券を発行して、堆肥工場へ行けば交換できるシステムが良い。プライバシーも考えてほしい。個人向け申し込みチラシを配布しても良いと思う。

居住地域	年代	性別	問 19 生ごみ堆肥化循環システムへの参加世帯を増やすために必要なこと
土山町	20 歳代	女	バケツを無料で配り、どのようにしたら良いか紙配ったら良い。お金の余裕がない世帯は買ってまでしようとは思わないので、家庭に負担がかからないならする人も少しは増える気がする。
土山町	30 歳代	男	宣伝する。
土山町	30 歳代	女	生ゴミ堆肥循環システム自体があまり知られていないと思うので、多くの方にこのシステムの内容、メリットなどを知っていただくことが大切だと思います。
土山町	30 歳代	男	種などの無料配布。森林に堆肥をまき木を増やしていく。
土山町	30 歳代	男	すべてのゴミステーションに設置することによって義務化すべきではないか。
土山町	30 歳代	女	知ってもらうための努力（情報提供、相談所）。ある程度まとまった地域ごとに取り組みを推進していく。
土山町	30 歳代	女	あいコムなのでやり方を動画で流すといいと思う。紙面だとわかりにくいので。
土山町	40 歳代	女	参加していない人の意見をしっかりと聞きそこから対策をたてる。
土山町	40 歳代	女	どのタイミングで参加すればよいのか分からず、現状のままということもあるので、自治会・町内会を通じて積極的な案内や呼びかけをしてほしい。
土山町	40 歳代	女	導入方法をアピール。
土山町	40 歳代	女	生ゴミの出し方をもう一度周知する必要があるのでは。
土山町	40 歳代	女	情報提供。
土山町	50 歳代	男	行政指導でゴミ焼却になる場合の処理費用などの金銭的な負担などがわかったらいいのでは。
土山町	50 歳代	男	地域である意味設置を強制的に決めていく。
土山町	50 歳代	女	もっと市から推進していく。
土山町	50 歳代	女	家庭菜園、ガーデニング等個人の楽しみ、やりがいに伴うと普及しやすいのではないかな。
土山町	50 歳代	女	市から各自治体への周知。
土山町	50 歳代	女	参加されている地域があるとは聞いていますが、私の地域ではそのような説明もされていないので参加していません。統一されるようにして行かないとできません。
土山町	50 歳代	女	市の取組を知らなかった。広報等に目をやっていない自身のせいと思うが、簡単に周知できる方法で取組を知らせてほしい。
土山町	60 歳代	男	自治体の強力な推進体制の確立。呼びかけが大切。
土山町	60 歳代	男	生ゴミをもっと集める。
土山町	60 歳代	女	夏期は悪臭がひどくフタを開けるとき困ります。何か悪臭の少ない容器が開発されるのもっと参加人数が増えるのでは。
土山町	60 歳代	女	広報紙などで市民に参加を呼びかける。
土山町	60 歳代	男	生ゴミのシステムは行政の対応が不十分と違うのかと思いますが。私たちの組内でもこのシステムの導入を申し入れたが、はっきり対応をしてくれなかった。容器がどうか何かシステムと申し入れがややこしいので、市民センターに尋ねたが、センターがハッキリ対応してくれなかったことがあるので、していないのが現状です。増やしていくのならもう一度各組内、又、区で対応するようにしてはどうか。
土山町	60 歳代	女	生ゴミの堆肥化を知らない人も多いのでは。
土山町	60 歳代	女	システム内容をそれぞれがよく理解し、各家庭で実践していく事が普及への第一歩だと思います。
土山町	60 歳代	女	行政からのリサイクルへの必要性を伝える。
土山町	70 歳以上	女	集積所を（設置する場所を）増やす。
甲賀町	20 歳代	男	資源の循環利用の重要さや、自然に与える影響を詳しく説明する。自宅で家庭菜園を行っている場合、一般に販売されている化成肥料と生ゴミ堆肥を使用した作物がどのように違うか比較したデータを公表する。
甲賀町	20 歳代	男	金。
甲賀町	20 歳代	男	ゴミ捨て場が遠い。
甲賀町	20 歳代	女	参加しやすい制度づくり、啓発。
甲賀町	30 歳代	女	堆肥を必要としない家庭への別のメリットがあれば増えるのでは。ゴミ袋（有料）を貰える等。
甲賀町	30 歳代	女	現在は子どもが小さく、生活に余裕がなかったことと、一度参加したのですが、夏場にとっても悪臭があり続けていけませんでした。夏場の悪臭は改善できないでしょうか。
甲賀町	30 歳代	女	利便性。手間がかかりそう。面倒くさいイメージあり。
甲賀町	30 歳代	女	住民を増やす。システムの認知度を高める。

居住地域	年代	性別	問 19 生ごみ堆肥化循環システムへの参加世帯を増やすために必要なこと
甲賀町	40 歳代	男	私の地域ではほぼ全戸力を利用している。利用されていない家庭はどのように処理されているのかその状況を市が把握されているのか？利用を促進するには市の広報活動と共に地域の自治会活動が大事。利点を理解してもらい、自治会の申し合わせ事項として取り組み、最近アパート、マンションが各地で建ち新しく当市に住まわれる方もおられるので日々広報活動を行い続ける。最近生ごみシステム及び容器の提供、又は補助の広報を目にしな。各機関が連携して常に促進。
甲賀町	40 歳代	女	こまめな情報提供。
甲賀町	40 歳代	女	費用を安くしてほしい。
甲賀町	40 歳代	女	今まで知らなかったなので、もっと市民への広報に力を入れてはどうか。各自治体などで説明していく等してほしい。
甲賀町	40 歳代	男	広報活動をもっと活発にすべきである。
甲賀町	40 歳代	男	パンフレット等の詳細な説明資料を配布する（途中で引越したのものにはよくわかっていないのが実状です）。
甲賀町	50 歳代	男	必要性をわかりやすく説明会をひらく。
甲賀町	50 歳代	男	システムがしみこむように支援制度（補助金）などをもっと充実していくことが大切だと思う。
甲賀町	50 歳代	男	説明の充実。
甲賀町	50 歳代	女	ごみ集積場所を増やす。遠くまで生ゴミを出しに行きにくい。
甲賀町	50 歳代	男	地区での説明会や利用者の批評開示。
甲賀町	50 歳代	男	生ゴミそのものを収集しては？
甲賀町	50 歳代	男	生ゴミ堆肥化循環システムの有効性をもっと理解して頂けるような広報活動が必要だと思います。
甲賀町	50 歳代	女	市民に必要性の説明やアピールをする。区からのすすめを推進する。
甲賀町	60 歳代	男	まず家庭内ゴミの完全分別をしていくべき。現行は、ゴミ袋に氏名すら書かない家庭がある状況。
甲賀町	60 歳代	男	堆肥化による効果で何が変わったか？いくら経費に役立ったかをアピールし、全世帯が入ればどうなるかを説明していく。
甲賀町	60 歳代	男	生ゴミ参加者に対して生ゴミを出すたびにポイント制とかを作り、ポイント数によって景品を渡してはどうか？
甲賀町	60 歳代	女	参加したいと思いつつ手続きをしていないのですが、市の広報に今後も頻繁に掲載していただくと増えると思います。
甲賀町	60 歳代	女	農家の方たちが主で街場の住民には関係がない気がする。もっと参加しやすい環境が必要だと思う。
甲賀町	60 歳代	女	啓発活動をする。
甲賀町	60 歳代	女	家庭配置のバケツなどが壊れた場合など、どうすればいいのかわからずやめる人が多いので、分かりやすくする。
甲賀町	60 歳代	男	説明と指導をしてほしい。
甲賀町	60 歳代	男	市の広告。
甲賀町	60 歳代	女	集積所に近い家は良いが遠いとお年寄りには重く負担になる。
甲賀町	60 歳代	女	良い点を説明。
甲賀町	70 歳以上	男	持続しての PR が必要。年数回の集団参加日及び催しを設けてももっとも皆様（住民）の関心がもてれば。
甲賀町	70 歳以上	男	もう少し広報等で参加を求めては。知らない人が多い。
甲賀町	70 歳以上	女	家の近くに生ごみを入れる箱の置く場所がない。チラシ、広報紙の啓発。
甲賀町	70 歳以上	女	近所の方は畑を掘って堆肥にされている方もいます（畑の野菜、くず等）。生ゴミはどうされているのでしょうか。地域で堆肥化循環システムについてもっと知らせるべきではないでしょうか。学校で子どもたちにも伝えてもらいたい。
甲賀町	70 歳以上	女	場所をもう少し増やして欲しい。
甲賀町	70 歳以上	女	参加の割合が少ない自治区にもう一度参加をすすめる。
甲賀町	70 歳以上	女	自宅で肥料として使っているのだから必要ないが、コンボも破損してくるので容器の補助をしてほしい。
甲賀町	70 歳以上	女	生ゴミのケースを増やして欲しい。
甲賀町	70 歳以上	女	ごみの分別ももう少し分別しやすいほうがいいと思います。
甲賀町	70 歳以上	女	今回このシステムを初めて知りました。社会にもっと普及していけば参加したいと思います。
甲賀町	70 歳以上	女	環境に変化がなければ現状で良いと思う。
甲南町	10 歳代	男	集落から離れたところに自宅があり参加には不便。

居住地域	年代	性別	問 19 生ごみ堆肥化循環システムへの参加世帯を増やすために必要なこと
甲南町	10 歳代	男	場所の確保。
甲南町	10 歳代	男	呼びかけなど。
甲南町	10 歳代	男	システムについて詳しく説明し、利点があることを伝えるべきである。
甲南町	10 歳代	男	このことについてもっと積極的にテレビなどで伝えていけばいいと思います。
甲南町	10 歳代	女	情報提供。防災無線の活用。
甲南町	20 歳代	男	野菜等を作ったりしない世帯に対してのメリットの確立。
甲南町	20 歳代	女	周知すること。
甲南町	20 歳代	男	メリットを公共の電波で伝える。
甲南町	20 歳代	女	説明や呼びかけ、チラシ配り。
甲南町	30 歳代	男	システムの概要や参加方法に関する周知や紹介を広く行う事が必要と考えます。
甲南町	30 歳代	女	そのシステムが実際にどんな感じでいかされているのか、「なるほど!」と思えるような実績とその報告。
甲南町	30 歳代	女	入居、引っ越した時点で教えてあげたらいい。うちは知らなくてわざわざ聞きに行きました。
甲南町	30 歳代	女	市の広報紙等で取り組みをわかりやすく紹介してほしい。
甲南町	30 歳代	女	ごみ回収のバケツの設置を増やす。
甲南町	30 歳代	男	田畑や花壇で使用してもらえるようにしていけばよいと思う。
甲南町	30 歳代	男	行政の支援。
甲南町	30 歳代	男	徹底した周知活動。
甲南町	30 歳代	女	もっと参加しやすい宣伝をしてほしい。実際にどうやって参加していいのかわからない。
甲南町	30 歳代	女	私の利用しているゴミ BOX には堆肥がありません。たまに見かけますが、どう参加していいかわかりません。広報等に載っているのでしょうか。チェックしてみます。
甲南町	30 歳代	女	システムの利用の仕方を積極的に伝える。メリットをもっと伝える。
甲南町	40 歳代	男	説明会、容器提供、堆肥の提供など。
甲南町	40 歳代	女	設置場所の増加、設置場所の整備の向上。
甲南町	40 歳代	女	申込書があれば申し込みたいですが、そのような取り組みを知りませんでした。まず、知ってもらうことが必要なのではないのでしょうか。
甲南町	40 歳代	女	分からない。
甲南町	40 歳代	男	市のアピール、地域の積極的な行動。
甲南町	40 歳代	男	自治会とは別に行政によるゴミステーションの設置。
甲南町	40 歳代	女	近くのゴミステーションにあった生ゴミ回収用のバケツがなくなりました(撤去)。回収バケツの規模をもう少し小さくして、こまめに回収していただけたらいいと思います。
甲南町	40 歳代	女	面倒くさいというのが本音です。必然性がないとなかなかできない。やっていることを今回初めて知りました。
甲南町	40 歳代	女	補助、広報(システムについて知ってもらうため)。
甲南町	50 歳代	男	堆肥を使う土地活用。
甲南町	50 歳代	男	もっと簡単に出来るシステムの構築。
甲南町	50 歳代	男	効果等の積極的なアピール。
甲南町	50 歳代	女	生ゴミをそのまま回収すればいいと思う。その後の処理は市ですればいい。
甲南町	50 歳代	女	活動内容を回覧などして周知する。
甲南町	50 歳代	女	生ゴミ堆肥化循環システムについて再度説明会などで詳しい情報を提供する。
甲南町	50 歳代	女	売れてお金になれば。
甲南町	50 歳代	女	もっと積極的に取り組み状況や参加する方法をいろいろな機会をとらえて市民に広く知らせて欲しい。
甲南町	50 歳代	男	各家庭への直接収集が出来ればイイかも…。
甲南町	50 歳代	男	広報等を通じてもっと PR すべきだと思います。又、設置数がまだまだ少ないと感じます。
甲南町	50 歳代	男	PR。
甲南町	50 歳代	男	PR が大事だと思います。
甲南町	50 歳代	女	小動物対策。
甲南町	50 歳代	女	このシステム自体を知らない人も多いと思う。もっと市民に説明等が必要だと思う。
甲南町	60 歳代	男	PR(メリット)が少ない。
甲南町	60 歳代	男	広報活動(未設置地区への導入促進)の実施。
甲南町	60 歳代	男	改めて説明資料、パンフ等の配布。

居住地域	年代	性別	問 19 生ごみ堆肥化循環システムへの参加世帯を増やすために必要なこと
甲南町	60 歳代	男	メリットの啓発。
甲南町	60 歳代	男	PR、行政区単位でのセミナーや説明会。
甲南町	60 歳代	男	市民にシステムに関して説明をすべき。
甲南町	60 歳代	男	コマーシャルを増やす。
甲南町	60 歳代	女	システムを知りません。
甲南町	60 歳代	女	途中から参加する場合の申し込みの方法がわかりやすいことなど。
甲南町	60 歳代	女	広報紙などでもっと啓発すべきだと思う。
甲南町	60 歳代	女	私の家の近くには生ゴミ回収容器もなく。そのようなシステムがあることも知らない。自分の家に穴をほって生ゴミは埋めています。
甲南町	60 歳代	女	市～各区～区民への情報提供の充実が必要かと思います。
甲南町	60 歳代	女	このようなシステムがあることさえ知らなかったの、知らない人が市民の方も少なくないのでは。行政の支援、情報提供にもっと力を入れて参加を募る事が必要なのでは。
甲南町	60 歳代	男	行政の説明。
甲南町	60 歳代	男	行政の指導。
甲南町	60 歳代	男	分別容器の増加。
甲南町	60 歳代	男	焼却した時と現在のシステムで堆肥を作っている両方の経費を明確にして、堆肥化がペイする為にはどれくらいが家庭が協力すればよいかなど具体的に公表する。
甲南町	60 歳代	男	設置場所を増やす。
甲南町	60 歳代	女	いろいろな面に利用できるように質を変える。
甲南町	60 歳代	女	もえるゴミを出すことは生ゴミも出るので、各ゴミステーションに生ゴミ堆肥化システム。自由に参加できるようにしたら。自分の家では主人が 10 年以上生ゴミは家で堆肥化して再利用している。
甲南町	60 歳代	女	良さをもっと PR すべき。
甲南町	60 歳代	女	自分自身の意義改革がまず必要だと思います。そのためには具体的なシステムの利点を利用者さんの声を通して知りたいと思います。
甲南町	60 歳代	女	生ごみ堆肥化循環システム自体少しわかったように思います。このように生ゴミ堆肥化循環システム自体は良いことだと思いますので、又、今後考えていきたいとします。
甲南町	60 歳代	女	参加の仕方がわからない人もいる。種堆肥の利用に不安な人がいる。
甲南町	60 歳代	女	ひとりひとりが環境を考え、ゴミを減らし、資源循環の大切さを人にも伝える。
甲南町	70 歳以上	男	市民に対しての PR が必要（わかりやすく）。
甲南町	70 歳以上	男	参加者の意見や効果を市報などで伝える。
甲南町	70 歳以上	女	水口町内にはあるが、村には参加できない。
甲南町	70 歳以上	女	ゴミステーションが近いから。
甲南町	70 歳以上	男	①堆肥化施設の利用率はどうか。まだ増えても OK か。②私たちの町でも利用者が少ない。啓発活動を行い増やしてはどうか。
甲南町	70 歳以上	男	上記システムについて、一般家庭での認識が私を含め少ないと思う。やりたくなる様な説明や、効果について説明が必要ではないか。
甲南町	70 歳以上	女	県内自治体の中でも循環システムを採用してないところがある。まず、県内全体を対象にすることではないでしょうか。特に知事さんに率先していただきたいです。
甲南町	70 歳以上	男	畑のない堆肥のいらぬ家庭が増えてきている。もう少し小型の物がいいか。
甲南町	70 歳以上	男	ゴミステーションの増設。
甲南町	70 歳以上	女	私所が参加してないので何とも言えません。簡単に出来れば。冬場は畑の角に穴を掘って野菜くずを埋めています。
信楽町	10 歳代	男	まずシステムを知ってもらい、メリット・デメリットを的確に伝え検討してもらうこと。
信楽町	10 歳代	女	参加の仕方がわからないので申し込みをするための書類やどのようなシステムであるかを説明したら良いと思います。
信楽町	20 歳代	男	現在個人に対しての取り組みとなっているが、地域での循環システムとなるよう組織化して取組むシステムにすればと思う。
信楽町	20 歳代	女	各家に生ゴミ処理機ポイント制度。
信楽町	20 歳代	女	啓発。
信楽町	30 歳代	男	システム説明してもらって、自分らにどんなメリットがあるか詳しく教えてほしいです。
信楽町	30 歳代	男	あいこうかなどの広報誌内で実際に参加している方の現場レポート、意見など写真入りでシリーズ化するとか、おもしろそう。楽しいかもと思わせるのがいいかと。

居住地域	年代	性別	問 19 生ごみ堆肥化循環システムへの参加世帯を増やすために必要なこと
信楽町	30 歳代	男	買え。
信楽町	30 歳代	男	認知度。
信楽町	40 歳代	男	広報をもっとしっかりやること。
信楽町	40 歳代	男	堆肥の量を多く配って欲しい。
信楽町	40 歳代	男	広報。
信楽町	40 歳代	女	利用時に少しでも不便を感じさせないシステムにするように。わざわざ土をかぶせるという作業がそもそも面倒に思いますが。
信楽町	50 歳代	男	生ゴミを入れる容器あるいは袋ごと回収して洗ったものを配布するなど手が汚れない工夫をしてほしい。
信楽町	50 歳代	男	堆肥化循環システムを知りませんでした。家庭での手間を考えると続けられるか分かりません。
信楽町	50 歳代	女	堆肥ではないものと交換しては？
信楽町	50 歳代	女	我が家も参加しており、ゴミの減量にはなっていますが、生ごみはどうしても重くなるので、年配の人には持ち運びが大変かも…。
信楽町	50 歳代	男	簡単なシステムにしてほしい。
信楽町	50 歳代	男	一般市民に対しての啓発活動（講演会、チラシ、IT の活用等）。
信楽町	50 歳代	女	生ゴミのリサイクルによるメリットをもっとアピールし、専用回収容器の設置場所を増やす（自分の家の近くにはないという話を聞いた）。
信楽町	60 歳代	男	定期的に家庭から出る生ゴミを集積所に持って行くが、20 世帯程利用している所なのに、2 世帯しか利用していないように思われる（分別は結構手間がかかる）。おそらく、現在このシステムを利用してる費用的メリットはないのでは（逆にマイナスなのは）。家庭用の白いバケツを無料配布し、環境面、費用面でのメリットを周知させる必要があるのでは。
信楽町	60 歳代	女	推進するよう説明会や実施指導があれば良い。エコポイントを集めるようなシステムにすると意識の向上があるのでは。集まったポイントでさらなるエコに繋がるようなシステムに。
信楽町	60 歳代	女	市の方から各地域への説明が必要と思われれます。はじめから参加の方しか私の地域ではされていないように思われれます。取り組みに参加するには初めの手続きがわからないのではないですか。
信楽町	60 歳代	男	個々の家庭に堆肥装置を設置できるように広めていかねばならないだろう。
信楽町	60 歳代	女	知らなかった。情報を提供して欲しい。
信楽町	60 歳代	女	行政による啓発活動が必要（当初取組から長年が経過しているため）。
信楽町	60 歳代	女	広報やセミナーで有効性を知らせる。
信楽町	60 歳代	女	広報紙とか回覧板で宣伝すべきです。
信楽町	60 歳代	女	設置場所を多く増やしたらどうかと思う。
信楽町	70 歳以上	男	容器の費用。実施する場所等の確保。
信楽町	70 歳以上	男	積極的な取り組みをしていく必要がある。
信楽町	70 歳以上	男	生ゴミ堆肥システムの各地の充実、設置等。
信楽町	70 歳以上	男	生ゴミ堆肥は各家庭にももらえるということですか。うちは花も野菜もつくってないし土地もない。
信楽町	70 歳以上	女	集落に一箇所生ゴミ集積所を設けること。生ゴミ収集日を示すカレンダーを各戸に配布すること。
信楽町	70 歳以上	女	業者委託のみでは限界がある。
信楽町	70 歳以上	女	集落中心部では全員参加しているが、人里離れた家庭では？
—	50 歳代	男	情報提供。

#### (4) 環境保全推進のために市が取り組むべきこと

問20 環境保全を推進するために、今後甲賀市はどのような施策に取り組むべきだと思いますか。特に重要と思われるもの上位3つに○をつけてください。

○環境保全推進のために市が取り組むべきことは、「リサイクル活動や環境美化などの市民活動の支援」が最も多く45.4%、次いで「ゴミの減量化やリサイクルへの取り組みの推進」(37.2%)、「森林や河川などの自然環境の保全や再生」(31.6%)となっている。

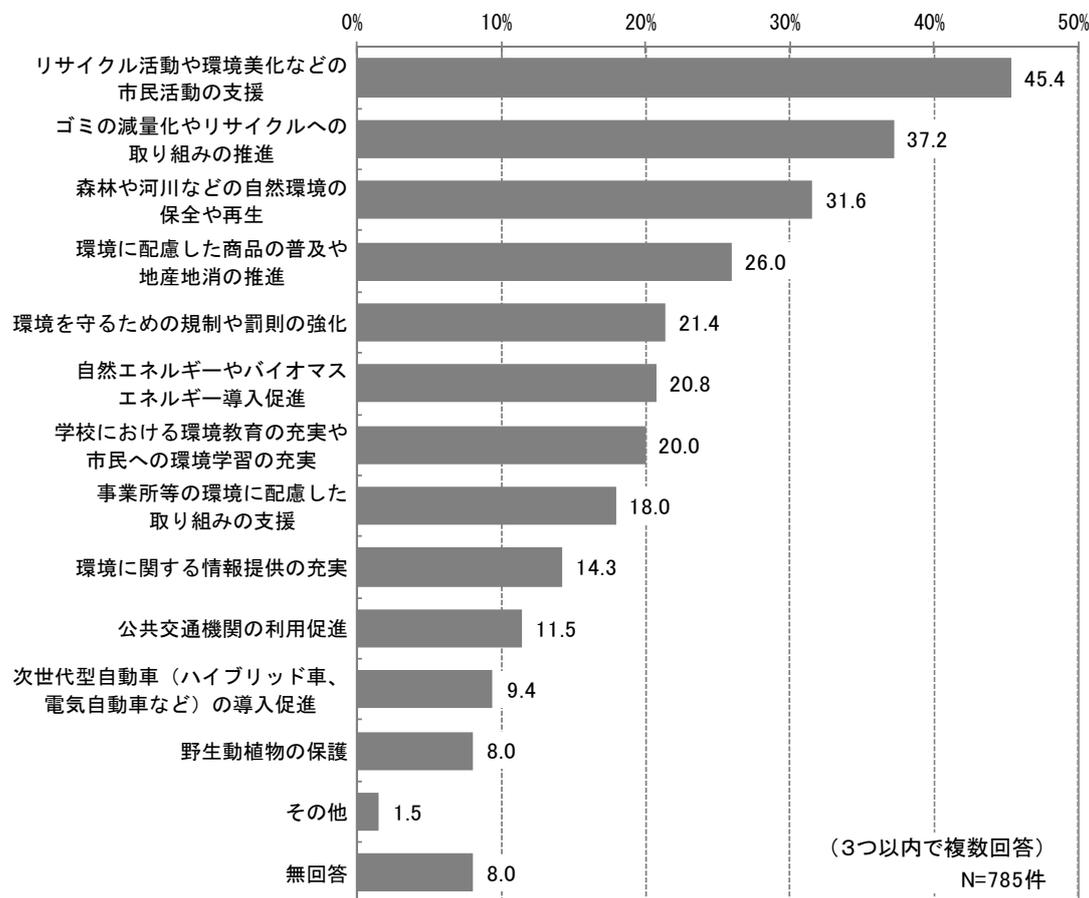


図 29 環境保全推進のために市が取り組むべきこと

## (5)環境問題や甲賀市の環境政策について

■環境問題や甲賀市の環境政策などについて、どのようなことでも結構ですのでご自由にお書きください。

○環境問題や甲賀市の環境政策などに関する意見は、以下のとおりである。

表 5 環境問題や甲賀市の環境政策などについての意見

居住地域	年代	性別	自由記述
水口町	20 歳代	男	まず、環境問題、政策を考える前に、政策が浸透する「環境」にあるのかどうか考えてみるのはいかがでしょうか。公共交通機関の利用といえど近江鉄道は高い。それによって高校生の一部は毎朝送り迎えをしてもらっている（CO2 がでる）。そもそも、この甲賀市は現状として、自動車がないと通勤は困難です。そんな状態で「公共交通機関を使いましょう」とアピールしても効果はないと考えています。
水口町	20 歳代	女	一戸建て住宅に住んでいますが、隣の家の物が整理されず困っています。なぜ環境政策ではそういうところへの指導をされないのでしょうか。それが原因の一つで転居まで考えている住民もいます。でも隣家の物が溢れている状況から買い手を見つけるのも厳しい状況で、という悪循環で。
水口町	20 歳代	女	外国人にこんなアンケートを実施しても効果なし。
水口町	30 歳代	男	このアンケート用紙の費用ムダ。
水口町	30 歳代	男	このような政策があったことを今回初めて知った。
水口町	30 歳代	女	野洲川が狭く、細くなってしまった、水の流れる量も少なくなった。草がボーボー生えてしまっている。川の三面張り（コンクリート）は取っ払った方がいいと思う。高島の放射性廃棄物の不法投棄のような問題が起こらないために、定期的にいろんな場所をパトロールする（人通りの少ないところや、山、森の中など）。空き家や、今にも倒れそうな廃屋を有効活用する必要がある。さびれて活気がない町だが、逆に言うと静かで落ち着いた町。子育てしやすいのではないだろうか。甲賀市や水口町へ住む人を増やすために、家を売りたい人、家を買いたい人、それぞれにとって損のないように、市からの補助があればいいと思う。市で買い取って団体の活動に使うとか、宿泊に使うとか、改装して違うことに使ったり、色々空き家を活用できませんか。「甲賀市はこんなに良いところですよ」ってアピール出来ることを増やしてバンバンアピールしていく。
水口町	30 歳代	女	自動車ではなく公共交通機関を利用しようとしても、バス・電車の本数が少なく利用しづらい。
水口町	30 歳代	女	行政の取り組み支援活動などをもっとアピールしてほしい。費用の支援を行い市民全体で活動推進してほしい。
水口町	30 歳代	女	甲賀市はごみの分別が甘いと思う。もっと市民に厳しく指導するべきだと思う。市民のごみの分別に認識が甘い。
水口町	30 歳代	女	近隣にエコステーションを設置して頂いたため、燃えないゴミ等出しやすくなりました。
水口町	30 歳代	男	製造工程、排気などを加味すると、ハイブリッドカーはエコノミーであるがエコロジーではない。
水口町	30 歳代	男	警察の問題なのかもしれませんが、ここ数年で暴走族、旧車会による騒音が酷いように感じます。夜中うるさくて目がさめることも良くあります。これも環境問題の一つではないでしょうか。警察との連携を図り取り締まり強へと動いていただけたらと思います。
水口町	30 歳代	女	水口子どもの森での子どもたちへの催しは、環境問題などを考えるきっかけとなりとても良いと思います。
水口町	40 歳代	男	興味を持っていない人に対しても、わかりやすく、今、市が実行していることをアピールしていければ、いい甲賀市を目指せると思います。
水口町	40 歳代	男	不法投棄をやめさせる。
水口町	40 歳代	女	もっと電車の便数を増やして欲しい。草津線の複線化。
水口町	40 歳代	女	ごみの不法投棄を厳しく取り締まってほしい。
水口町	40 歳代	女	今のところ大きな災害にあっていないので、危機意識が弱いと思います。少しズレたことになりましたが、避難の際、避難所に市民全員が入れるキャパシティがあるのか不安になることがあります。人口が減る中で難しい事ですが、車の使用を極力減らせるような環境になってほしいです。

居住地域	年代	性別	自由記述
水口町	40 歳代	女	資源ゴミの日を小分けにしてほしい。また、月の回数を増やしてほしい。新たに建て替えや建て増しされる市の建物は、環境に考慮したものであってほしい。
水口町	40 歳代	男	ごみの分別・エネルギー問題など環境問題の質問でしたが、犬・ネコの動物のフン害も環境問題として取り上げていただきたいと思います。京都市のように「動物と共生に向けたマナー等に関する条例」を検討すべきでないかと思います。
水口町	40 歳代	男	自然環境を活かしたエネルギー開発。
水口町	40 歳代	女	前回防災訓練に出たが、家より低い避難所はいかなものかと。水害訓練もしたが家より低い所にあるため、家が浸水した場合、避難所には非難できないと思うのに、この訓練は必要なのか疑問である。
水口町	40 歳代	女	サルやイノシシが農作物を食べてしまうので、畑をやめたという声を最近よく聞くようになりました（特に甲賀町、土山町）。畑の収穫の喜びを失った方々の生きる気力の衰退や自然環境の悪化がとても心配です。農業技術の継承が若い世代になされていくよう、農業に明るい未来が感じられるように期待しています。
水口町	40 歳代	女	自身を含め、意識や行動を変えていくには時間がかかるし、働きかける方の苦労も多いと思います。少しずつではありますが、環境意識は高まっていると思います。これからも市職員の皆さんの頑張りに期待しています。ありがとうございます。
水口町	50 歳代	男	豊かな自然が数多くあるのに、それを整備する担い手が少なくなっているため、どんどん荒れた手付かずの自然になってしまっている。市民も当然だが、観光的な側面も取り入れ多くの方が自然にふれあい、よい環境を作っていける取り組みを考えていくべき。忍者ばっかりじゃいかんよ。
水口町	50 歳代	男	フォーラムの様な事を時間・曜日をいく通りも組んでやってみてはどうでしょうか？
水口町	50 歳代	女	不法投棄の取り締まりの強化をお願いしたい。
水口町	50 歳代	男	広域であるが故の住民サービスの偏りが起こらないよう充分に配慮いただきたい。
水口町	50 歳代	男	農業者の高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加、TPP による農産物価格の下落など、いくら農地中間管理機構をつくり解決を図ろうにも限界があります。特区による農地転用の規制緩和を行い、太陽光発電施設を増やし、環境エネルギー施策に活用すべきと考えます。
水口町	50 歳代	男	アパート・マンション等が増えている中で、政策が隅々まで周知出来るような体制の構築をして欲しい。
水口町	50 歳代	女	空き家が多すぎ。空き地も雑草がひどい。ゴミ捨て場になっている。
水口町	50 歳代	女	積極的な活動、活用してほしい。
水口町	50 歳代	女	山や森、田畑、庭など雑草があると、種が飛び、周りの家も雑草が生えるので困る。条例等で、近隣の迷惑になるほどの目に余るものは、罰してほしい。蚊の増殖を防いでほしい。
水口町	50 歳代	女	ここの考え方が違うようにやさしさも違います。自分さえよかったらと思う人々が増えていくことがある今日この頃、難しいと思います。とにかく思いやりの心を持ちたいと思います。特に動物に対して。
水口町	50 歳代	女	子どもが遊べる公園がない。年寄りのための公園ばかりになっている。車を運転できなかった年寄りには 11 時以後の交通手段はどうすればよいのか。小さい子供を遊ばせる公園が年寄りの公園にばかりになってしまっている。遊ばせようとするとして出て行くように言われる。車がなくても暮らせる町にする必要があるのではないのか。このままだと若い世代の子が皆出て行くと思います。
水口町	50 歳代	女	市内を流れる河川が安全できれいになってほしい。市バスが地域によって便利な地域とないほうがマシな地域があり不公平で行政に対して不信感がある。
水口町	50 歳代	女	少子高齢化になり今のままの環境がずっと守られるのか心配です。何かにつけ人手不足、人材不足、他人事の様な個人の意識。
水口町	50 歳代	女	公園の遊具や溜池の廻りの施設等の点検は定期的に行われているのでしょうか。古くなったままで危険なところもあるので見回りをしてほしい。ほったらかしのところにはゴミを捨てたり犬の糞を捨てたままの人がいるので困ります。
水口町	60 歳代	男	散在性ごみの不法投棄が多いので、シルバーを活用した美化活動を実施して欲しい。美しくなればその場所への不法投棄は少なくなります。
水口町	60 歳代	男	住みよい甲賀市を市長が目指しているんですしたら市の職員、県の職員が一体して前に進んで行くことが大事だと思います。見本を見せていくべきだと思う。行動をしてください。
水口町	60 歳代	男	農業の方が有機栽培と言って、家畜の糞尿を田んぼに撒くとか（臭がする）、籾殻を燃やす（臭いと煙）のをやめさせてほしい。
水口町	60 歳代	男	今後も推進して環境保全に努めてください。

居住地域	年代	性別	自由記述
水口町	60歳代	男	市民ひとりひとりが取り組む意識がないといけない。まだまだポイ捨てが多く見られ、残念だ。
水口町	60歳代	女	荒廃している里山の整備・保全。手入れの出来ない荒廃した里山を私有の境界確認の作業を市なども協力していただき、その後整備し、自然環境の保全と創出の実現に向けてバイオマスエネルギーの利活用。
水口町	60歳代	女	下水道の事ですが、ご近所の方は未だに下水道になっていません。溝掃除もまめにする方ではなくて近所は困っています。下水道はしなくていいのですか？指導等はないのですか？環境問題をいつているのなら、そういう人達に注意するべきではありませんか。甲賀市はどうなっているんですか。
水口町	60歳代	女	給食センターが市役所、警察署の近隣に建設されると聞いているが、本来センターについては都市計画法では工業地域(準工業地域)に建設すべきである(環境上からも)。
水口町	60歳代	男	甲賀市の各町のバランスが良くない。
水口町	60歳代	男	環境保全や改善は、豊かで明るい未来づくりに向けた重要なテーマであることから、市民全員の意識を変える啓発活動強化も大切である。
水口町	60歳代	男	以前よりの住民については意識が高いが、若い方、最近転入の方、外国の方等の積極支援が必要と思います。なお、地域参加を考えますと新規住居の方の参加は減少していると思います。環境問題は全地球の問題であり、その一つ一つの地域、家族、個人の意識の思いによりなしとげられるものでありますから、指導者側の頑張りを応援します。
水口町	60歳代	男	市の環境に関する行動の実状が今少しわからない。
水口町	60歳代	男	ごみの違法投棄をなくすにはどうすればいいのか考えていただきたい。
水口町	60歳代	男	飲料水について、以前は水がおいしかったが、最近あまり感じなくなりました。琵琶湖の水が悪くなっている。野洲川の水だけのほうがおいしかったです。
水口町	60歳代	男	ごみの不法投棄に対する啓発推進。仙川兩岸の堆積物の撤去。
水口町	60歳代	女	甲賀市は環境政策において進んでいると思います。農林振興を進めながら、対策をして頂きたいと思います。
水口町	60歳代	女	公共交通をと言うならば、各役所に勤務されている人から実践すべき。あんなに多くの車を置き場所がもったいない。これも税金、駐車料金をとるべき。通勤手当もらっているのでしょうか？滋賀県(県庁)へ勤めておられる方が全部車通勤ではないはず。もっと足元から考えて。
水口町	60歳代	女	市から届く納税通知書の封筒で、住所、氏名のところが紙と違うのでいつもそこだけハサミで切って紙の資源ゴミにだしています。住所などがわかるような紙と同じ材質で今後作成していただければありがたいです。こまかいことをお願いして申し訳ございません。この調査を見せていただき、市の取り組みに感謝します。まだまだ知らないことばかりですので、市民参加のイベント、市の広報等、みんなが環境について学べるほっこりとした活動、よろしくおねがいします。
水口町	60歳代	女	市民全体が美化運動に取り組み、参加しているのでとても美しいと思う。変わらないでほしいと思う。
水口町	60歳代	女	高い年齢の人でも楽に参加できるようなシステム。若い人達が地域のために頑張れるようなシステム。何に使われているかよくわからない税金を若い頑張ってくれた人に給料として。役にたたない肩書、部署に高額報酬、こんな税金のムダな使い方をしてるより、もっと頭のいい人を採用して考えてください。
水口町	60歳代	女	ポイ捨て、民家の敷地に入っても犬の散歩(フンの未処理)、住民一人ずつが意識の再確認、ゴミ処理がいややからほっとけと所構わず、美意識がそういう人間に限って無責任、自己中なので、家の敷地の通りに捨ててあると、いつも通ってる人間やろうと思うので、すぐにゴミ処理しないと車に踏まれ余計散らばるし腹立たしさが増すが、小さな「抵抗」をしていますが、組長に指摘されたこともありバカバカしく、捨てた人間より処理しない人間に風当たり強く困ってます。ポイ捨てやめろの看板立てたいと思う毎日です。
水口町	60歳代	女	誰でも住地の周りは自分たちで清掃するものですが、市役所新設される周辺、消防署、県事務所のメイン通りの周辺の植木の中の草取りがされていないのではないのでしょうか。その中に従事する一人一人が気づけば、清掃(草引き)すれば、メイン通りが美しく、よい町づくりになるのではないのでしょうか。
水口町	60歳代	#N/A	環境関係の役員さんが堂々と草木を刈り取り、川へ放置。年に何回も見えています。
水口町	70歳以上	男	県道、市道等公共の道の側溝のゴミを取り水路の役目を。現状は放置されている。日野町は溝をきれいにしている。汚れた所は特にゴミが多い。地域では対応が難しい。行政での対応をお願いしたい。

居住地域	年代	性別	自由記述
水口町	70歳以上	女	生ゴミの堆肥化によってもえるゴミ収集に悪臭がない、水漏れがないのできれい（多少のことはあり）。
水口町	70歳以上	女	子供の頃からの教育や実践。
水口町	70歳以上	女	農薬の使用を今より減らして人間の活動や、動植物に優しい環境づくりをお願いします。
水口町	70歳以上	男	市長筆頭にもっと動くと良い。碧水城跡堀遊歩道に出来ないか（近江八幡堀のように）。予算がない一点張りでは困る。
水口町	70歳以上	男	快適な環境を保全、改善していこうとする市民意識の向上のための啓発や学習会を地区単位で取り組めるような行政の指導、助言。
水口町	70歳以上	男	現在、市で使用している燃えるゴミ指定袋及びプラスチック専用袋に氏名を書くとところがありますが、ほとんど書いていない町（甲南、甲賀、土山、信楽）がありますが、どちらでも良いと言うのであれば、この枠は必要ないと思いますが、いかがでしょうか。私の住んでいる地区でよくあることですが、燃えるゴミと生ゴミを混入（生ゴミが乾燥されていない）されているので、夏場には破れたところから悪臭とウジが湧き出ている。これをなんとかしたいです（たぶん田んぼ、畑のない方だと思います）。
水口町	70歳以上	男	野洲川の川辺に竹がすごく増えた。竹を切り出して川の流れを良く出来ないですか。個人の竹やぶも他人の土地に侵入して道路にはみ台している。環境もよくなりうまくやれば、竹炭ができる。
水口町	70歳以上	女	R1号線松尾ランプ登り口左右の不法投棄にイカりを感じます。対策を考えてください。
水口町	70歳以上	女	畑に夜布団を捨てて行かれる。畑等袋の中にカップ入りごと捨てているモラルのない人がたくさんいる。
水口町	70歳以上	男	調査票に一応記入はしましたが、環境を守って行くことがいかに大変かと思えます。空き家、ひとり暮らし、結婚しない（嫁がない）、子どもが少ない、こうした状況で自分等の集落も半世紀もしないうちに限界集落から消滅区なりそうです。守っていきたくても先の見えないトンネルに入りつつあります。
水口町	70歳以上	男	先日、古城山の頂上より東側の道を通って下山して参りました。一部の道が草木が茂っていて歩くのも困る箇所がありました。又、秋葉神社の上の空き地は昔遊園地としてジャングルジムやシーソーが設置されていますが、木や竹の中で朽ち果て危険な状況です。事故が起きてからでは遅いと思えますので撤去されるべきかと思えます。ご検討ください。又、家庭で飼育されていたペットの鳥が逃げたものか、見かけぬ小動物を見ることがありますが、生態系を変化させないように責任を持って飼育していただきたいと思えます。
水口町	70歳以上	男	広報が必要です。あいこうかを有効に利用して推進をはかる。
水口町	70歳以上	男	郵便ポストを増やして欲しいです。
水口町	70歳以上	男	福島原発の処理も出来ていないのに、原発の再稼働するのはおかしい。処理も出来ていないのに再稼働とは納得がいきません。原子力発電には絶対反対する者です。水口とて安全とは言えません。
水口町	70歳以上	男	一言、環境問題につきお願い申しますが、今郷東の稲川地先から西へ、新岩上橋までの県道が通っていますが、又、南には1級河川があり、そういうところの道路であるのですが、その道の南の法面の高いところでは20mから役15mあるかと思えますが、その法面の草刈りを昨年度まで必ず年2回は自分たちの家の前くらいは刈っていましたが、近年体も衰え刈り取りができなくなって参り、何とか国、県、市で共に考えてもらい、誰が見ても見苦しく荒れた状態になってきましたので、又、1年とほっておくと手につけられなくなりますので、早い内に見晴らしの良いところにしてほしいと思い、特にお願ひ申します。
水口町	70歳以上	女	住み家について個人差はありますが、道路に面して住んでいる者ですが、ジュース缶やペットボトル、弁当の空などが投げ捨てられている。酒カップやタバコの吸殻、パンを食べた後のビニール袋等々、マナー違反者も多々あります。無言で拾ってます。
水口町	70歳以上	女	大きな道路のそばに山があります。そこに、畳、上敷きなど不法投棄されます。役場に看板があると聞きましたが、いただけるのですか。区長さんでないと個人が行ってもいただけないですかね。
水口町	70歳以上	女	各家庭でゴミ減量化に努め環境美化を進めたい。
水口町	70歳以上	女	北脇のガソリンスタンドから発がん性物質が最大240倍に達したと聞きました。どういことですか。
土山町	20歳代	男	里山はしっかり整備しましょう。人の手が加わらなくなれば森林は荒れます。

居住地域	年代	性別	自由記述
土山町	20 歳代	男	環境問題、環境政策が、市として取り組んでいる現状、又今後どのような方向に向かおうとしているのか、市民として把握することが関心を持つ第一歩である。一般市民がどのように参加できるのか、区単位ではなく、各家庭の家族に関心を持ってもらう必要がある。まず資料を発行し、意見を問うべきである。
土山町	30 歳代	男	森林に杉、ヒノキ以外の動物の植物となる木（どんぐりの木）などを植える。自然な森林を増やしてください。
土山町	30 歳代	男	よりより甲賀市にしてほしい。
土山町	30 歳代	女	ご近所で自家焼却されている方がいて困っている。規制はないのですか？
土山町	40 歳代	女	野焼き禁止を徹底して欲しい。煙や匂いに困ります。山林が多いので、林業の活性化を願っています。
土山町	40 歳代	女	環境問題は市民ひとりひとりの心がけと行動が大切です。家庭・学校・地域で取り組めることや、実際に取り組んでいることを発信し、身近に出来ることがたくさんあることを呼びかける。
土山町	50 歳代	男	車でのポイ捨てが多い。
土山町	60 歳代	男	山の水路の掃除（詰まっている）をしてほしい。
土山町	60 歳代	女	環境保全で公共交通機関の利用促進とあるが、現在の運行状況では、通勤、買物、病院行きすべて利用不可能（本数が少なく時間がかかりすぎる）である。高齢化社会に向け、車が運転できなくなった時の対策等考慮して欲しい。現在は、車なしでは生活できない。環境保全は大切な事だと思うが、家庭菜園で野菜を育てたり、花を植えたりしているが、鳥獣被害で収穫できないことが多い。シカと衝突して車を破損したりするので、徹底した対策を望んでいます。
土山町	60 歳代	女	日頃から熱心に取り組まれている方々に感謝しております。今後、甲賀市が益々住みよい町になることを願っています。
土山町	70 歳以上	女	人間が環境とかかわって生きていく力を身につけていく教育を次世代にしていく事が必要と思う。食料は流通しているものを買えば得られるが、自然から得る力も次世代に伝えることが困難になっている。大人から子どもたちに伝える場が少なくなっている。
土山町	70 歳以上	女	環境問題は他人事ではなく一人一人の積極的な考えがなくてはならないものです。
甲賀町	20 歳代	男	バス、電車、公共交通機関が不便すぎて話にならない。駅へ行くにも車が必要、バスも1日に数本しか走っていない。利用したくても出来ない。
甲賀町	30 歳代	女	昔からの習慣なのか、野焼きをされる方が多いです。本人の家からできるだけ離れた場所でされてもすぐ横がよその家で洗濯ものが干してあっても、窓が開けてあってもおかまいなし。「やめて下さい。」と言えるような環境ではありません。野焼きはしていて当然という考え方に理解しがたいです。
甲賀町	30 歳代	女	バイオマスエネルギーの他、廃棄物もエネルギーに替えて利用できればよいのに…原子力発電に不安いっぱい今の今、電気自動車は排気ガスがなくメリットもあるが、導入に疑問を感じる。より良い甲賀市になるよう、頑張っていきましょう！！
甲賀町	40 歳代	男	道の辺りの雑草の管理。山の木の道路へのはみ出し及び歩行者自転車の利用の少ない歩道の整備。税収が少なくなっていく中で莫大な管理費用がかかる道路管理。今後は新設道路法の改定も考え、必要性の低い歩道はつけない。又必要以上にガードレール、柵等設けない。これから先、人口減少の世、負の遺産を残さない。
甲賀町	40 歳代	女	野焼きをしていることをよく見かける。やめて欲しい。
甲賀町	40 歳代	女	違う市から甲賀市へ来たが、周りの方の環境問題等への知識の無さ、関心の無さに驚きました。田舎であればある程そういったものが低いような気がします。高齢者も多いので難しいと思いますが、そちらの理解から必要なのでは？
甲賀町	50 歳代	男	環境政策と雇用を結びつけられたら良いと考えます。
甲賀町	50 歳代	女	獣害対策に力を入れて欲しい。イノシシ、サル、あらいぐま、鶺鴒。
甲賀町	50 歳代	男	ゴミ搬出日はまだまだ分別も十分でなくゴミ袋に不要物が混ざっています。もっと分別の重要性を地区会合で訴えるべき。でも甲賀市の分別は他市町村と比べてリードしています。
甲賀町	50 歳代	女	エコは良いと思うが、自動車や設備に費用が高くて手が届かない。それに、甲賀町はだんだん病院や公共施設に不便になり、車が必要であり、学校も何年後かは合同させると聞きます。ますます不便で、息子が夫婦で同居を考えてくれていますが、孫が通う小学校も遠くなるなら本当に嫌です（油日小）。買い物もスーパーが減り、甲賀町はへんぴになってきています。不満です。

居住地域	年代	性別	自由記述
甲賀町	60歳代	男	自然をアピールする施策として他市町村にない公園を作る。例として、香りの森公園（芳香を持つ樹木や草花で展示）、きのこの山公園、野鳥公園など10~50年かけて作る。
甲賀町	60歳代	女	高齢者所帯の大型ゴミ処理の支援。
甲賀町	60歳代	女	自動車に乗らないと生活できない地域もあり、今後買い物等で不自由になってくる事と案じています。
甲賀町	70歳以上	男	集合バスの推進。下水道100%実行出来る行政。各地域に環境問題、政策に精通した専門家の養成、及び、そういう人間を行政が掘り起こす努力が必要。
甲賀町	70歳以上	女	観光地を無料の自転車レンタルで廻る。（観光地の紹介やロケ地の情報など知りたい）
甲賀町	70歳以上	女	獣害が大変ひどいため農家は被害が甚大であるためなんとか考えて欲しい。
甲賀町	70歳以上	女	弁当箱、空き缶のポイ捨てが多いと思う。
甲賀町	70歳以上	女	週2回生ゴミ回収していただけること本当にありがたいです。
甲賀町	70歳以上	女	山のすそ、田んぼの畦などの草を早く刈ってきれいにすれば、缶・ごみなどを捨てないと思う。
甲賀町	70歳以上	女	このアンケートは80歳以上はムリです。家族が代筆していますが、本人には分かりづらい質問が多いです。
甲南町	10歳代	男	分別出来るゴミ箱を設置。
甲南町	10歳代	女	取り組みを知る機会が少ない。高校生でも知れるようにインターネットを活用して欲しい。
甲南町	30歳代	男	通勤する際に道端にゴミがポイ捨てされているのを見ると心が痛みます。何か良い対策があればと思います。
甲南町	30歳代	女	問2の質問は答えにくい。水のきれいさ、大気・地下水のきれいさ、土壌が汚染されていないか、なんて一般市民にはわかりません。数値を知っているわけでもないのに。何を聞きたいのか意味のない質問にしか思えません。
甲南町	30歳代	女	まず、市の職員が公共交通機関を使い仕事してみて、バスの本数とかを内部で検討してみたらどうですか？お手本がないと誰もついていきません。
甲南町	30歳代	女	自然豊かな市なので、もっと若い人たちにも市の取り組みを理解し続けていけるよう啓発してほしい。
甲南町	30歳代	男	支援をよろしくお願いします。
甲南町	30歳代	男	ポイントサービスなど、住民に何か還元できるようなサービスがあれば、もっと環境活動に取り組めると思う。
甲南町	30歳代	女	環境問題については、いろいろと課題があることも認識しているし、それぞれが取り組んでいくべきだと思っていますが、入口が難しく感じます。なので、個人で出来ることしかしていません。（簡単なことしか）
甲南町	40歳代	男	きれいな町づくりというのは、申すのは簡単です。動いてください、もっと。見に来てください、現況を。本当にひどいです。自治会長に行っても動かず、ずっと動いてもらってなく、ここで伝えるのがチャンスかと思いました。本当にお願いします。ゴミステーションです。ゴミ箱ではありませんでしょう。よろしく頼みます。
甲南町	40歳代	女	太陽光発電の設備の何らかの形での補助や支援をお考えくださるようお願い致します。高すぎてムリです。
甲南町	40歳代	女	甲賀市ならではの、自然などを守っていかれたらいいなあと思います。
甲南町	40歳代	男	希望ヶ丘本町8丁目のゴミステーションの状況を見て何も反応しない市の市政はおかしい。弱者に対して口無し。
甲南町	40歳代	女	プラスチックごみの分別は人によってはしんどいと思います。プラゴミ分別をなくしたほうが予算を減らせるのでは？
甲南町	50歳代	女	年一回”創造の森”の清掃を強制的にさせられてます。何事においても感心のない事に”強制”があってはいけないと思うし、強制することによって嫌悪感すら感じています。
甲南町	50歳代	女	これからも家庭で出来ることは積極的にやっつけていこうと思っています。市からもいろいろと情報をいただければうれしいです。
甲南町	50歳代	男	環境問題を考える。とても大事ですね。甲賀市の施策の取り組みと共に、私たち市民も環境に関する意識をしっかりと持って、出来る事から一歩ずつが大きな力となるのですね。この度、調査の趣旨をしっかりと理解させて頂き、改めて調査票に記入しながら思いました。いつも意識することが必要だと。
甲南町	50歳代	女	山間部に住んでいるため近くに産廃業者の所有している土地がいくつかあります。何かを燃やしているらしく煙が出ているところがあります。外からは何をしているのかわからないので不気味であり、また煙（黒い）で大気が汚れてしまうので不安です。

居住地域	年代	性別	自由記述
甲南町	50 歳代	女	交通が全く不便すぎる。ハローラインバスと JR の時間考えて欲しい。(長い待ち時間考えて欲しい)
甲南町	50 歳代	女	環境などで気になることを相談できる窓口を充実。
甲南町	60 歳代	女	市の上の方で動いて、下の者が知らない取り組みが多い。もっとしっかり説明し、設備もそなえてほしい。
甲南町	60 歳代	男	現状維持。
甲南町	60 歳代	男	通勤、通学道路の美化。ポイ捨て 0 の町を目指す。
甲南町	60 歳代	男	今現在も 10 日に一度位の頻度で生活ゴミ、プラスチック類を野焼きするので、黒煙と強い異臭に付近の住民が困っている。又、半焼けのゴミが強風で飛散していることもある。
甲南町	60 歳代	男	リサイクル活動の充実。物を大切に！！
甲南町	60 歳代	女	区に出向いて定期的に PR や質問を聞く機会をもっといただきたい。
甲南町	70 歳以上	男	環境問題を推進するには自治体の一方的な情報提供だけでは物足りない。小・中・高での教育や地域にマッチした問題を提起すべきです。身近なサル、犬のフン問題から市内循環バスの効率化で利用者の増を図るなど実効性のある取り組みが必要かと思えます。
甲南町	70 歳以上	男	少子高齢化社会において、甲賀市中心部と山間地(過疎地)の発展と住民生活の格差社会。高齢化に伴い地域医療のあり方(巡回健診)。高齢者の買い物難民(車、人、人間関係)先住民との関係(童話問題)。
甲南町	70 歳以上	女	近所に空き地あり、草が背丈ほどに成っている。役所に行っても個人情報で教えられない。これはどうしたらいいでしょう。5~6年刈ってない。
甲南町	70 歳以上	女	甲南駅から水口へ(平和堂、甲賀病院等)乗り入れる乗り合いバスの運行を希望します。
甲南町	70 歳以上	女	リサイクルですが、再利用に力を入れて学習と実践をすすめることではないでしょうか。公共交通の利用促進といっていますが、市の祭事の多い土日祭日の時はバスの運休が多いので参加できかねます。
甲南町	70 歳以上	男	環境に関する市民意識調査はとても良い方法だと思います。まず自然の良さを取り入れたい。
甲南町	70 歳以上	男	まだまだ不法投棄がありますので取り締まりの強化。
甲南町	70 歳以上	男	一口に環境問題と言っても、頁 3 のように多岐にわたり難しい問題ですが、それぞれに対応する施策・活動について、効果等の検証が必要と思います。
甲南町	70 歳以上	女	生ゴミ堆肥化はやってませんが、牛乳パックは必ず切って古紙として出しております(当然の事ですが)。ごみのポイ捨てはしないように。タバコの吸殻も。
甲南町	70 歳以上	女	甲南駅の階段辛いので、寺庄まで行って引きかえっています。
信楽町	10 歳代	男	新たなものを生み出すより、元からある良いもの・悪いものを向上させる。廃止するといった取り組みの方が大事だと思う。
信楽町	20 歳代	男	地域住民の生活に密着した問題であり、自然と人が調和し未来に胸をはってつなげることが必要と思う。生活が豊かになり、使い捨ての世の中になりつつあるように感じているが、循環型の社会づくりがこれからは必要であり、ある程度の制約を課すこともやむを得ないと思う。個から地域という考え方がもっと必要と思う。
信楽町	40 歳代	男	川の環境をもっと良くして欲しい。川の清掃につとめること。
信楽町	40 歳代	女	ゴミ袋の値段を安くしてほしいです。
信楽町	50 歳代	男	景観を重視したモデル地区をつくり、市内に広めていって欲しい。農業重視の柵ばかりの道は観光客への印象が悪いです。甲賀市にはのどかな田舎風景が望ましいと思います。
信楽町	50 歳代	男	とにかく、汚さないのが掃除の手間を省く一番の対策。何かをする時に、問題にフタをし、やる方向で進め過ぎている。
信楽町	50 歳代	女	下水が普及していない事は問題ありではないか。生活排水全て流れている。
信楽町	50 歳代	女	家から出るゴミを自宅で燃やしておられるところがあるので、たまに悪臭がしてくることがあるので野焼きの禁止を強化して欲しい。
信楽町	50 歳代	男	鳥獣被害対策が十分に行われていない。駆除してほしい。
信楽町	50 歳代	男	甲賀市は山林が多いので、森林等の保全に注力して、環境問題に取り組んでいって欲しい(されていると思いますが、よく知らないため)。
信楽町	60 歳代	男	環境対策はおそらく誰もが必要と思っているところではあるけど、短期的(その場限り)には費用負担を強いられるので、結局、従来の安いもの(手段)に行き着くのではないかと思う。将来的(長期的)なメリット(子ども、孫達に美しい自然環境を残していくためにも)をもっと考えることが大事かと思う。

居住地域	年代	性別	自由記述
信楽町	60 歳代	女	甲賀市のゴミ袋、弱い、破れやすい、値段も高いと思う。
信楽町	60 歳代	女	競走馬の敷きワラを運ぶトラックが 1 日に何度か 307 号線を通ります。網でおおっているトラックからは異臭がするので、シートでおおうよう指導してください。川の中、川の土手をきれいにしてほしい。
信楽町	60 歳代	女	山の中に住んでいますので、産業廃棄物などを捨てにくる人たちがないように見張りをしていただきたいと思います。許可を（産廃業者に）出される時に慎重にお願いしたいと思います。
信楽町	60 歳代	女	河川、公園はよく地区での草刈り、美化活動はされているのですが、国道より入った県道・市道は道路も整備され花壇もつくられているのですが、その花壇の手入れ、草刈りがなされていない。花は植えたまま咲かない、草はいっぱい生えそろうている、ゴミは捨てられている、いろいろ。その環境問題にはならないのですかね。花壇の整備がされないのなら、すべて歩道にしてあればいいのって思うことがあります。歩道であっても草はいっぱいです。この整備なんかはどこがされますか？近所の人？地区はしていない、市もしていない、こういった問題は市の環境問題には入らないのでしょうか。
信楽町	60 歳代	男	市は環境問題に予算を組んで、環境美化に努めること。環境教育を増やしていかねばならない。美化で集まったゴミなどを集積場作ること。町中にも道路際にも市が回収するゴミ箱を多く設置し、市や住民ボランティアで回収する。
信楽町	60 歳代	女	シカ、イノシシ、サルが毎夜、土地、野菜を荒らしに来て困っています。
信楽町	60 歳代	女	ゴミ設置場所もう少し増やすべきと思います。
信楽町	60 歳代	女	バイオマスエネルギーについてあまり聞いた事がないので、機会があれば知りたいです。「二酸化炭素は大丈夫かしら？」などと。
信楽町	60 歳代	女	合併前で町の方へ何度か申請したが全く働く意思がない。あきらめました。
信楽町	70 歳以上	男	国道、市道等にゴミ袋、タバコの吸殻等のポイ捨て等環境と危険性の問題
信楽町	70 歳以上	男	小川に住んでいる人間ですが、猿が多くてフンやゴミなど散らかして困っています。また臭くて、それと外にも出られません。なんとかしてください。
信楽町	70 歳以上	女	すべての環境問題を改善するのは、なかなか大変なことと思います。少しずつでも良くなっていくことを願っています。、質問に対してうまく答えられなかったことお許し下さい。
信楽町	70 歳以上	男	松枯木が多くなっている。
信楽町	70 歳以上	女	林業振興。木材からエネルギーを得ること。甲賀市はほぼ 90%が森林なので林地残材や製材の端材をエネルギー源とするのに適した自治体だと思います。人々の誤解をなくすこと。人々は「物を燃やすと地球温暖化する」と思っているようです。しかし、現在地球に生えているものはいくら燃やしても大丈夫なのだと思わせなければなりません。燃やしてはダメなものは石油や石炭などの化石燃料だけなんだということを知らない人が多いと思います。
信楽町	70 歳以上	女	河川の中の雑草等が生い茂り、堤防を越える高さに（10 年以上前より）。この原因は何だろうか？河川にも普通河川と下水の分類があってもよいのではなかろうか教えて下さい。

### 環境に関する市民意識調査 ～調査へのご協力のお願い～

市民の皆様には、日頃から環境行政にご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

甲賀市では、平成21年6月に策定しました「甲賀市環境基本計画」が平成28年度末で終期となりますことから、次期計画の策定に取り組むことといたしました。

今回の調査は、広く市民の皆様のお考えやご意見をお聞きし、次期環境基本計画等の方針や施策に反映をしていくために実施するものです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成28年（2016年）1月

甲賀市

#### ご記入にあたってのお願い

- この調査は、平成28年1月18日現在で甲賀市にお住まいの16歳以上の方を無作為に選んでご協力をお願いしていますので、お送りした封筒に書かれているあて名の方ご自身がご記入ください。（本人による記入が困難な場合には、ご家族などがご本人から聞き取って代筆をお願いします。）
- この調査は無記名でお願いします。また、この調査票に記入された内容は統計的に処理しますので、内容が外部にもれたりしてご迷惑をおかけすることは決してございません。どうぞありのままをお答えください。（答えたくない質問については、お答えいただく必要はありません。）
- 回答は問1から順に、質問ごとに用意した答えの中から、あなたのお考えに近いものの番号に○印をつけてください。
- 回答によって、次の質問をとばしていくところがありますが、その場合には質問の指示にしたがって進んでください。
- ご記入いただいた調査票は、三つ折りにして同封の返信用封筒に入れて、**2月10日（水）**までに郵便ポストへ投函くださいますようお願いいたします。（お名前を書きいただく必要はありません。）
- この調査についてのお問い合わせなどございましたら、下記までご連絡をお願いします。

この調査票についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

有关本项调查的不明点，请咨询以下电话号。

If you don't understand, please call the following.

Peça maiores informações sobre esta pesquisa, pelo contato descrito abaixo.

甲賀市 市民環境部 生活環境課 〒528-8502 甲賀市水口町水口 6053 番地

電話 (TEL) : 65-0691 (直通) ファックス (FAX) : 63-4582

e-mail:koka10204000@city.koka.lg.jp

■ あなたご自身のことについておたずねします。

問 1-1 あなたの年齢を教えてください。

- |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|
| 1. 15～19 歳  | 2. 20～24 歳  | 3. 25～29 歳  |
| 4. 30～34 歳  | 5. 35～39 歳  | 6. 40～44 歳  |
| 7. 45～49 歳  | 8. 50～54 歳  | 9. 55～59 歳  |
| 10. 60～64 歳 | 11. 65～69 歳 | 12. 70～74 歳 |
| 13. 75～79 歳 | 14. 80 歳以上  |             |

問 1-2 あなたの性別を教えてください。

- |      |      |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

問 1-3 あなたのお住まいの地域はどちらですか。

- |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|
| 1. 水口町 | 2. 土山町 | 3. 甲賀町 | 4. 甲南町 | 5. 信楽町 |
|--------|--------|--------|--------|--------|

問 1-4 現在の住所に住まれて何年になりますか。

- |               |                |              |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. 1 年未満      | 2. 1 年～3 年未満   | 3. 3 年～5 年未満 |
| 4. 5 年～10 年未満 | 5. 10 年～30 年未満 | 6. 30 年以上    |

問 1-5 同居している家族人数を教えてください。（ご本人を含む）

- |            |        |        |
|------------|--------|--------|
| 1. 1 人（本人） | 2. 2 人 | 3. 3 人 |
| 4. 4 人     | 5. 5 人 | 6. 6 人 |
| 7. 7 人     | 8. 8 人 | 9. 9 人 |
| 10. 10 人以上 |        |        |

問 1-6 あなたの住宅の形態を教えてください。

- |                                |              |
|--------------------------------|--------------|
| 1. 一戸建て（木造）                    | 2. 一戸建て（非木造） |
| 3. 集合住宅（木造）                    | 4. 集合住宅（非木造） |
| 5. その他（                      ） |              |

■ 環境問題についておたずねします。

問2 あなたが住んでいる地域周辺の現在の環境について、あなたの満足度、重要度をお聞きます。項目ごとにあなたのお考えに近いものをそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

現在の満足度					項目	今後の重要度				
満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満		重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要でない	重要でない
1	2	3	4	5	【回答例】 ①川や池の水質のきれいさ	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	①川や池の水質のきれいさ	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	②大気ของきれいさ	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	③星空の見やすさ（光害がない）	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	④騒音や振動が無い静かさ	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑤地下水の水質のきれいさ	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑥土壌が汚染されていない状況	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑦悪臭が無い状況	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑧ごみの不法投棄がされていない状況	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑨ごみの分別の方法	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑩自然災害に関する安全性	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑪里山や田んぼ、ため池など身近な自然の保全	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑫自然と触れ合える水辺や公園の豊かさ	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑬町並みや屋外広告など、まちの景観の保全	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑭寺社等の歴史の保全	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑮地域に伝えられてきた文化の継承	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑯市民の環境に対する意識	1	2	3	4	5

**問3 現在の住所に10年以上お住まいの方にお聞きします。**  
**10年前と比べて地域周辺の状況はどう変わりましたか。**  
**以下の各項目について、あなたのお考えに近い番号に○をそれぞれ1つつけてください。**

		良くなった	変わらない	悪くなった	わからない
①	川や池の水質のきれいさ	1	2	3	4
②	大気きれいさ	1	2	3	4
③	星空の見やすさ（光害がない）	1	2	3	4
④	騒音や振動が無い静かさ	1	2	3	4
⑤	地下水の水質のきれいさ	1	2	3	4
⑥	土壌が汚染されていない状況	1	2	3	4
⑦	悪臭が無い状況	1	2	3	4
⑧	ごみの不法投棄がされていない状況	1	2	3	4
⑨	ごみの分別の方法	1	2	3	4
⑩	自然災害に関する安全性	1	2	3	4
⑪	里山や田んぼ、ため池など身近な自然の保全	1	2	3	4
⑫	自然と触れ合える水辺や公園の豊かさ	1	2	3	4
⑬	町並みや屋外広告など、まちの景観の保全	1	2	3	4
⑭	寺社等の歴史の保全	1	2	3	4
⑮	地域に伝えられてきた文化の継承	1	2	3	4
⑯	市民の環境に対する意識	1	2	3	4

**問4 環境保全のために行われている活動へのあなた自身の参加状況をお聞きします。**  
**以下の各項目について、あてはまる番号に○をそれぞれ1つつけてください。**

		よく参加している	時々参加している	参加してみたい	関心はない
①	公園や道路、河川などまちの美化・清掃活動	1	2	3	4
②	植林や花壇づくりなどの緑化活動	1	2	3	4
③	里山や野生動植物の自然保護活動	1	2	3	4
④	自然観察会への参加	1	2	3	4
⑤	資源リサイクル活動（廃品回収、バザーなど）	1	2	3	4
⑥	環境に関するセミナーや学習会への参加	1	2	3	4
⑦	環境保全のための募金	1	2	3	4
⑧	その他（ ）	1	2	3	—

**問5 あなたの家庭でおこなっている環境にやさしい取り組みについてお聞きします。**  
**以下の各項目について、あてはまる番号に○をそれぞれ1つつけてください。**

		いつも実行している	時々実行している	現在は実行していない	
				今後実行しようと思う	今後実行するつもりはない
①	アイドリングストップなどエコドライブの実践	○	2	3	4
②	車の利用をさけて、できるだけ公共交通機関を利用	○	2	3	4
③	できるだけ地元でつくられたものを購入（地産地消）	○	2	3	4
④	冷暖房の適切な温度設定や無駄な照明は消すなどの節電の実践	○	2	3	4
⑤	家電製品買い替え時における省エネ型製品の購入	○	2	3	4
⑥	風呂の残り湯の洗濯等への利用など節水の実践	○	2	3	4
⑦	電気代・ガス代等のこまめなチェック	○	2	3	4
⑧	買い物袋の持参	○	2	3	4
⑨	資源ゴミの分別	○	2	3	4
⑩	ゴミを減らす工夫の実践	○	2	3	4
⑪	エコマーク商品など環境にやさしい製品の購入	○	2	3	4
⑫	その他、環境に優しい取り組みがございましたらご記入ください。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; width: 80%;"> </div>	○	2	3	—

**問6 環境やエネルギー問題に関する情報源として活用しているのは次のうちどれですか。**  
**あてはまる番号に3つまで○をつけてください。**

1. 書籍・雑誌	2. 新聞	3. テレビ・ラジオ
4. 講演会等	5. 市の広報	6. 学校
7. インターネット・電子メール	8. その他（	）

**問7** 地球温暖化とは人間の活動の拡大により二酸化炭素(CO2)をはじめとする温室効果ガスの濃度が増加し、地球表面の温度が上昇することですが、あなたはこの地球温暖化問題のことに関心がありますか。

- |             |   |       |
|-------------|---|-------|
| 1. 非常に関心がある | } | 問7-1へ |
| 2. 少し関心がある  |   |       |
| 3. 全く関心がない  | } | 問8へ   |
| 4. わからない    |   |       |

**問7で1または2と回答された方にお聞きします。**

**問7-1** 地球温暖化対策に取り組む上で最も重視すべきことは何だとお考えですか。  
あてはまる番号に○を1つつけてください。

1. 家庭で省エネルギーに取り組むこと
2. 企業や事業所が省エネルギーに取り組むこと
3. 温室効果ガスの排出を抑制する新たな技術革新に取り組むこと
4. 森林整備などによる温室効果ガスの吸収源対策に取り組むこと
5. 公共交通機関の整備や都市機能の集約など新たなまちづくりに取り組むこと
6. 農業・林業の振興といった産業構造の転換を目指すこと
7. 化石燃料から太陽光など自然エネルギーへの転換を進めること
8. わからない

**■ あなたのご家庭の自動車の利用状況についておたずねします。**

**問8** あなたはご自分で車を運転されますか。

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1. 運転する → 問8-1へ | 2. 運転しない → 問9へ |
|-----------------|----------------|

**問8で「1. 運転する」と答えた方におたずねします。**

**問8-1** 普段の自動車の利用状況についてお聞きします。  
以下の各項目について、あてはまる番号に○をそれぞれ1つつけてください。

		ほとんど毎回利用	時々利用する	利用しない
①	通勤	1	2	3
②	駅、学校・園等への送り迎え	1	2	3
③	仕事	1	2	3
④	買い物や役所、銀行など	1	2	3
⑤	旅行	1	2	3
⑥	通院	1	2	3
⑦	行事・サークル	1	2	3
⑧	その他 ( )	1	2	—

**問9** 現在あなたのご家庭で所有している自動車の台数についてお聞きします。  
自動車の種類ごとに、あてはまる番号に○をそれぞれ1つつけてください。

		0台	1台	2台	3台	4台	5台以上
①	ハイブリッド車、 プラグインハイブリッド車	0	1	2	3	4	5～
②	ガソリン車	0	1	2	3	4	5～
③	ディーゼル車、 クリーンディーゼル車	0	1	2	3	4	5～
④	LPG・天然ガス車	0	1	2	3	4	5～
⑤	電気自動車	0	1	2	3	4	5～
⑥	燃料電池自動車	0	1	2	3	4	5～

**問10** あなたのご家庭で、今後1年以内に自動車を購入または買い替える予定はありますか。

1. 購入または買い替える予定がある →問10-1へ
2. 購入または買い替える予定はない →問11へ

**問10で「1. 購入または買い替える予定がある」と答えた方におたずねします。**

**問10-1** 現在購入を予定している自動車は以下のどのタイプですか。  
候補となっているものすべてに○をつけてください。

1. ハイブリッド車、プラグインハイブリッド車
2. ガソリン車
3. ディーゼル車、クリーンディーゼル車
4. LPG・天然ガス車
5. 電気自動車
6. 燃料電池自動車
7. 未定

**問11** 電気自動車の充電スタンドは増えつつありますが、県内ではまだ少ない状況です。  
充電スタンドはもっと増やすべきだと思いますか。

1. もっと増やすべきである
2. 今以上に増やす必要はない
3. どちらでもよい

■ エネルギー問題についておたずねします。

問12 日頃使用しているガス、ガソリン、灯油などの化石燃料について、将来どのようになるとお考えですか。あなたのお考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

1. 近い将来なくなり、影響が現れるものと不安を感じている
2. 当分はなくなるはずなので、不安はない
3. 将来はなくなるが、別のエネルギー源を使えば問題ないと思う
4. 地球上には、大量にあるので不安はない
5. その他 ( )

問13 新エネルギーについてお聞きします。(以下の設問の「新エネルギー」には「革新的なエネルギー高度利用技術」を含んでいます。)

以下の各項目について、あてはまる番号に○をそれぞれ1つつけてください。

		よく知っている	聞いたことはあるが、どんなものかは知らない	聞いたことがない
①	太陽光発電	1	2	3
②	太陽熱利用	1	2	3
③	風力発電	1	2	3
④	温度差熱利用 *下水や河川などからの熱と外気との温度差を冷暖房に利用するシステム	1	2	3
⑤	雪氷熱利用 *冬の間に降った雪や氷を保管し、冷熱が必要となる時に冷蔵、冷房などに利用するシステム	1	2	3
⑥	廃棄物発電、廃棄物熱利用、廃棄物燃料製造 *廃棄物(ごみ)を燃焼する際に発生する熱を発電等に利用したり、廃棄物を燃料化して利用するシステム	1	2	3
⑦	バイオマスエネルギー *木材(木くず)、生ごみ、家畜の排泄物などの動植物に由来する有機物を燃焼、ガス化、燃料化して利用するエネルギー(薪ストーブ、ペレットストーブを含む)	1	2	3
⑧	天然ガスコージェネレーション *天然ガスの燃焼によって発電を行うとともに、発電時に発生する熱も有効利用するシステム	1	2	3
⑨	燃料電池 *水素と酸素を電気化学反応させて電気を作る発電装置。	1	2	3
⑩	その他 ( )	1	2	—

問14 あなたのご自宅での新エネルギーの利用状況、利用意向についてお聞きします。  
以下の各項目について、あてはまる番号に○をそれぞれ1つつけてください。

	現在設置 している	設置する 予定がある	設置する 予定はない	賃貸、集合住宅 等のため、設置 できない	わからない
① 太陽光発電	1	2	3	4	5
② 太陽熱利用	1	2	3	4	5
③ 小型風力発電	1	2	3	4	5
④ ヒートポンプ給湯器 (例:エコキュートなど)	1	2	3	4	5
⑤ ガスコージェネレーション システム(例:エネファームなど)	1	2	3	4	5
⑥ バイオマスエネルギー *薪ストーブ、ペレットストーブ含む	1	2	3	4	5
⑦ その他 ( )	1	2	—	—	—

問15 あなたがご自宅に新エネルギーシステムの設置を考えた場合、どのような問題点、課題がある  
とお考えですか。あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1. 設備費用が高い
2. 維持費用が高い
3. 手続きや導入の仕方がわからない
4. 費用に対するメリットがない、わからない
5. 新エネルギーに関する知識がない
6. 設置できる環境にない(賃貸、集合住宅等に居住など)
7. その他 ( )
8. わからない

問16 市内で新エネルギーシステムを普及する場合、どのような施策が必要と思われますか。  
最も重要と思われるもの1つに○をつけてください。

1. 市民共同発電の推進支援
2. 廃棄物のエネルギー利用の推進
3. 木質燃料(薪、ペレットなど)の安定供給
4. 市民学習会の開催等による新エネルギーに関する啓発推進
5. その他 ( )
6. わからない

あと少しです。  
引き続き、回答を  
お願いします



くじやえもん

■ ここからは甲賀市の取り組みについておたずねします。

【バイオマスについて】

地球温暖化防止対策の一環として化石燃料の使用を抑制し、森林資源などの再生可能エネルギーを活用する動きが全国的に拡がりつつあります。

甲賀市においても豊かな森林資源を有効に活かし、自然環境の保全と創出の実現に向けて木質バイオマスエネルギーの利活用を検討しています。

《バイオマスとは？》

家畜排せつ物や生ゴミ、草木などの動植物から生まれた再生可能な有機性資源（化石燃料は除く）のことをバイオマスといい、そのなかで、木材からなるバイオマスのことを「木質バイオマス」と呼びます。

木質バイオマスは間伐材や廃材、木くすなどをペレット、チップなどに加工して燃料とするもので、家庭のストーブから発電所まで幅広く使われています。



(経済産業省 資源エネルギー庁HPより)

問17 今後甲賀市において積極的に木質バイオマスエネルギーの利活用を進めるべきだと思いますか。あなたのお考えに近いものを1つ選んで○をつけてください。

- |                     |          |
|---------------------|----------|
| 1. 積極的に利活用すべきである    | } 問17-1へ |
| 2. 問題がなければ利活用してもよい  |          |
| 3. あまり利活用する必要性は感じない | } 問18へ   |
| 4. 全く利活用する必要性を感じない  |          |
| 5. わからない            |          |

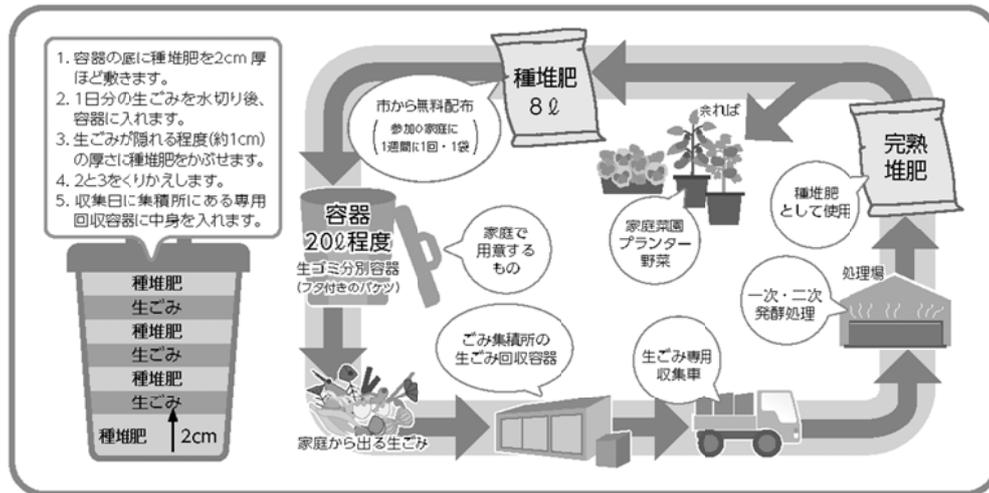
問17で1、2に回答された方におたずねします。

問17-1 木質バイオマスについて、どのような動きがあれば利活用が進むと思いますか。  
あてはまる番号に3つまで○をつけてください。

1. 行政の支援・補助の充実
2. 利活用の事例や新しい技術などの情報提供
3. 設備導入のための指導
4. 相談窓口の設置
5. セミナーや相談会の開催
6. その他 ( )
7. わからない

### 【生ごみ堆肥化循環システムについて】

甲賀市では家庭から発生する生ごみを堆肥化して活用する資源循環に取り組んでおり、この取り組みは全国的に注目されています。



生ごみ堆肥化循環システム

問18 生ごみ堆肥化循環システムへ参加状況(意向)についてお聞きします。

1. すでに参加している
  2. 今後参加したい
  3. 参加するつもりはない → 問18-1へ
- } 問19へ

問18で「3.参加するつもりはない」と回答された方におたずねします。

問18-1 参加されない理由をお聞かせください。

